

導入・設定

ドライバのインストール

MP2100/MP3100ドライバは、当アプリケーションのインストーラではインストールされません。
下記 のリンクから該当OSを選択し、リンク先に記載されている手順に従いドライバのインストールを行ってください。

- [Windows 7 にインストールする方法](#)
- [Windows 8 \(Windows8.1\) にインストールする方法](#)
- [Windows 10/Windows 11 にインストールする方法](#)

[注意事項]

※MP2100/MP3100をWindows8/8.1/10/11で使用される場合

“電源オプション-高速スタートアップが有効”の時、正常動作しない場合がありますので、“無効”の状態でご使用ください。



導入・設定

ドライバのインストール (Windows 7)

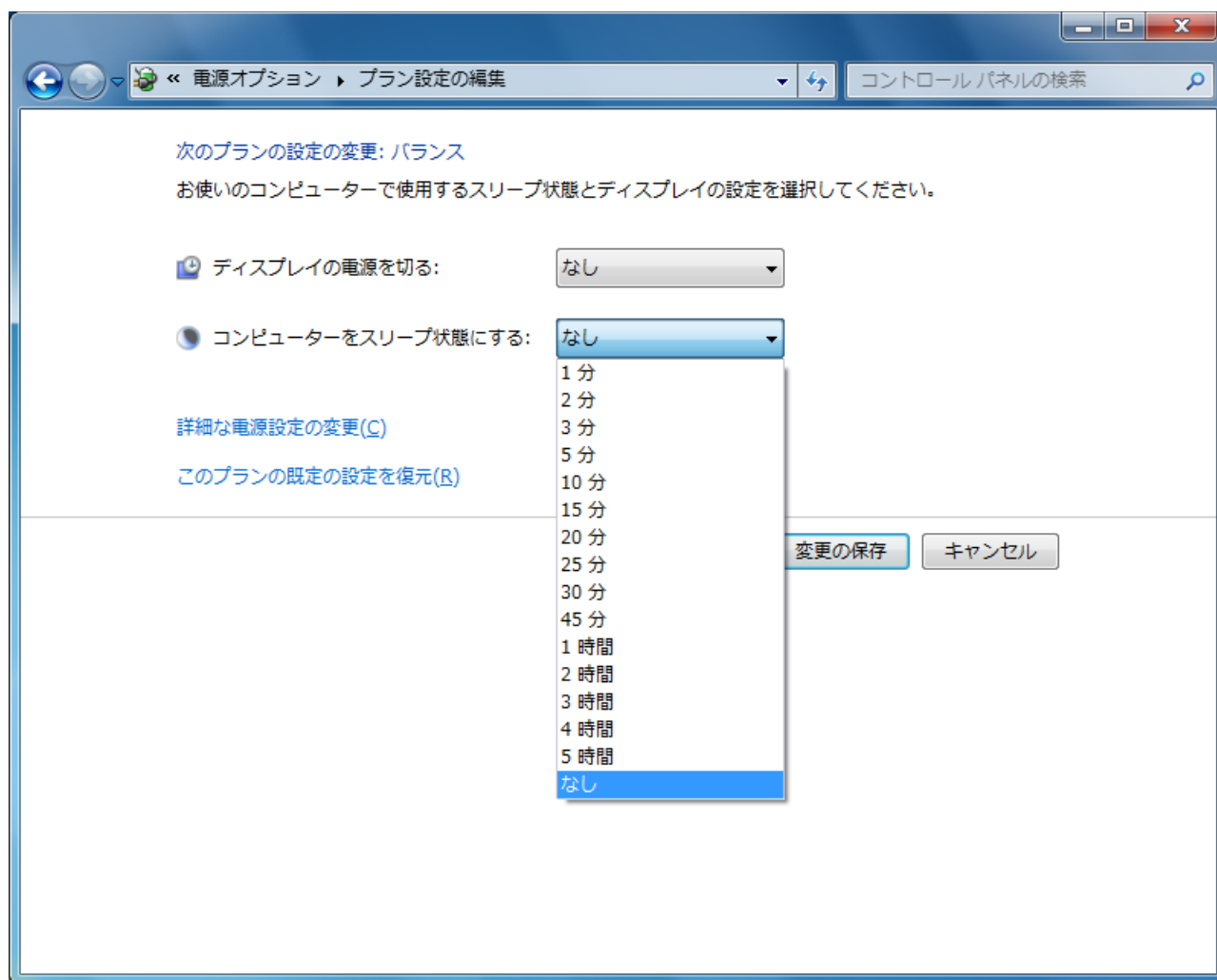
ここでは、Windows 7 へのドライバインストール手順を記載します。

下記手順では、CD-ROMドライブをDドライブとして説明します。お使いになるPCのドライブ名に合わせて読み替えてください。

- [電源設定について](#)
- [Windows 7 にインストールする方法](#)
- [Windows 7 に更新インストールする方法](#)

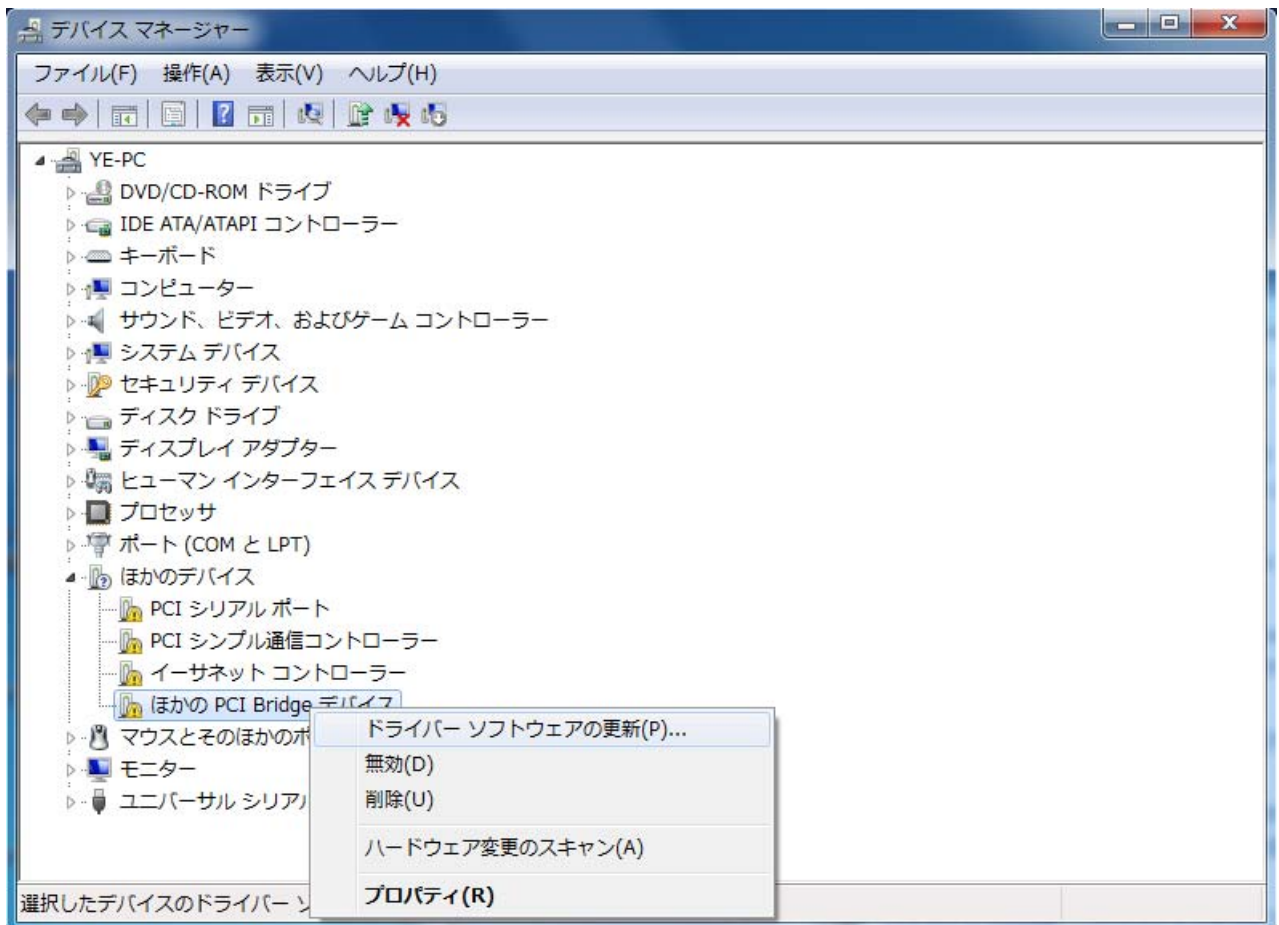
【電源設定について】

「コントロールパネル」の「電源オプション」->「コンピュータがスリープ状態になる時間を変更」をクリックし、「コンピュータをスリープ状態にする:」を「なし」に設定してください。

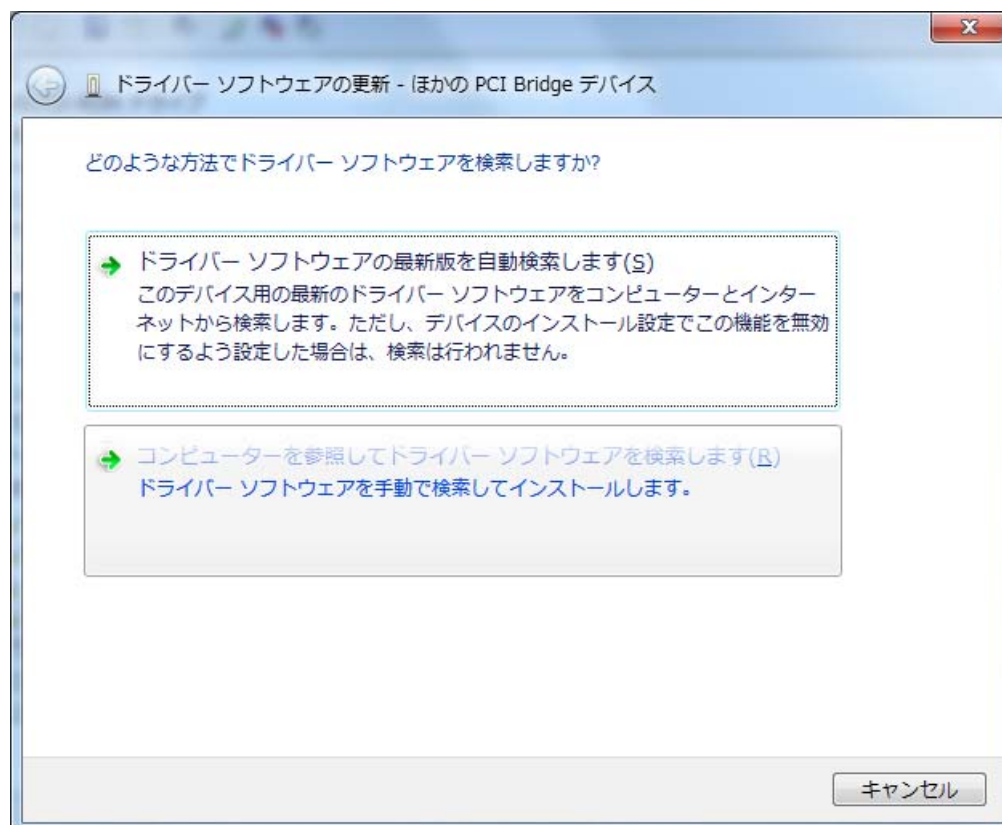


1. ドライバのインストール

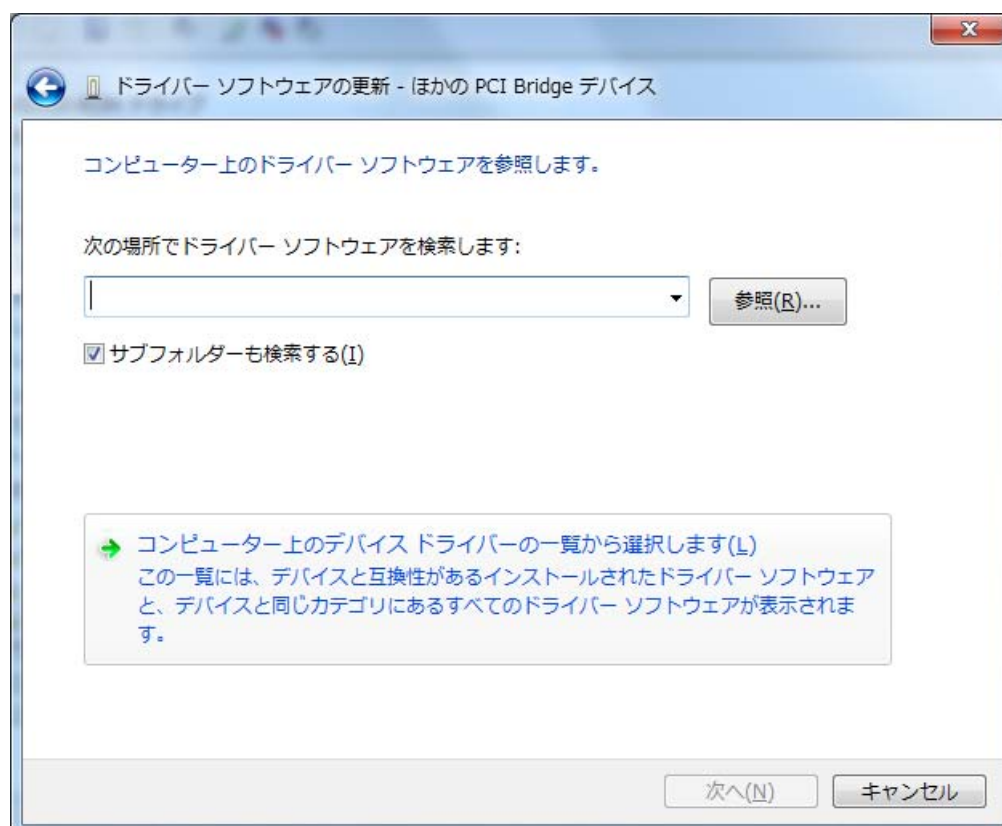
- (1) PCを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットにコントローラ基板を装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 7を起動して下さい。
- (3) 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- (4) 「システムとセキュリティ」を選択します。
- (5) 「デバイスマネージャー」を選択します。
- (6) MP2100の場合は「ほかのPCI Bridge デバイス」、MP3100の場合は「DPIO モジュール」にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。(Windows7ではプラグアンドプレイにより、Windows XPでの「新しいハードウェアの検出ウィザード」に相当するものが表示されないため、手動でインストールウィザードを表示する必要があります。)



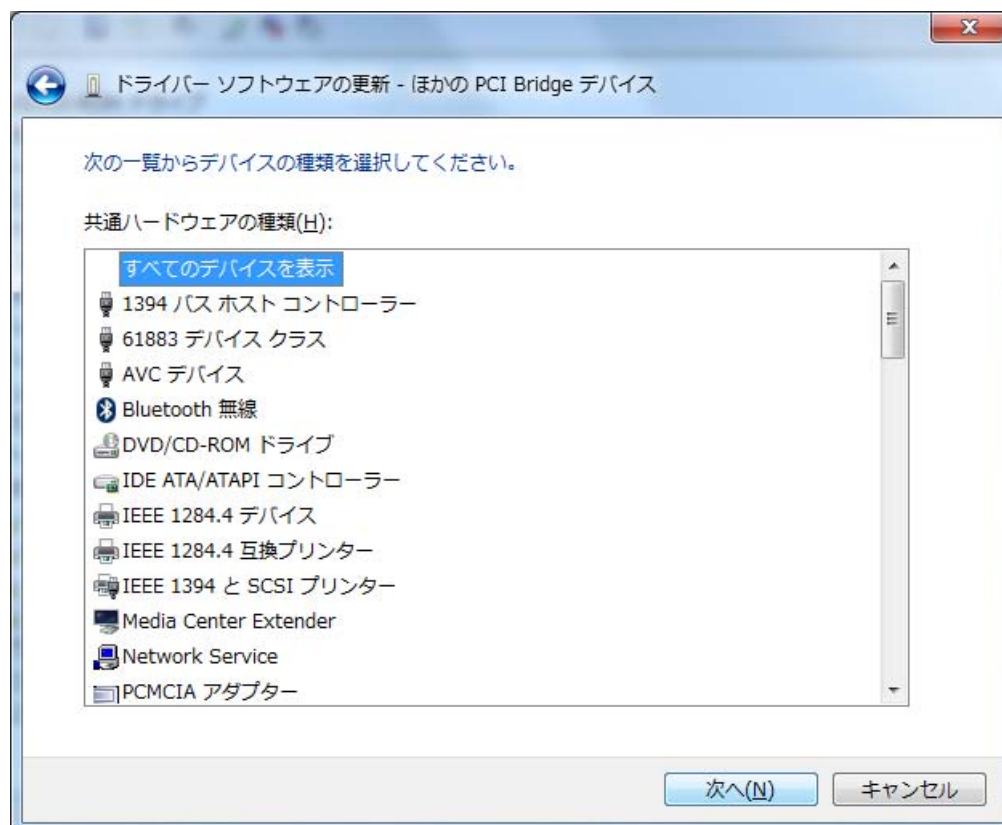
(7) “コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)”を選択します。



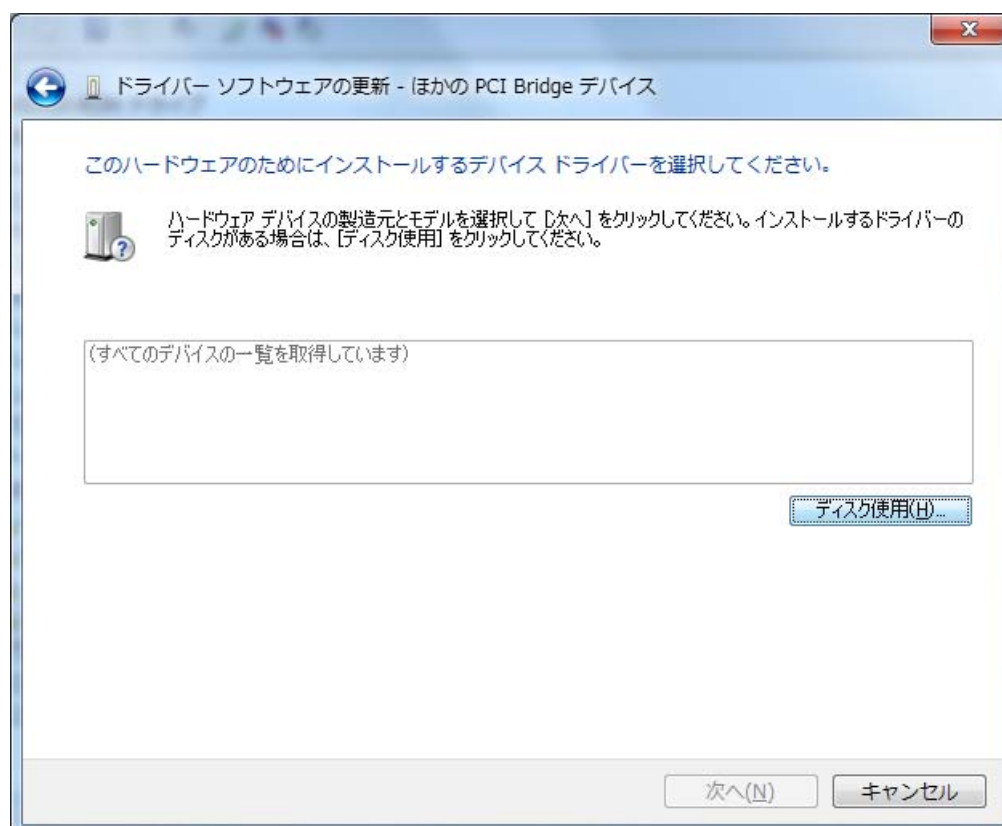
(8) “コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L)”を選択します。



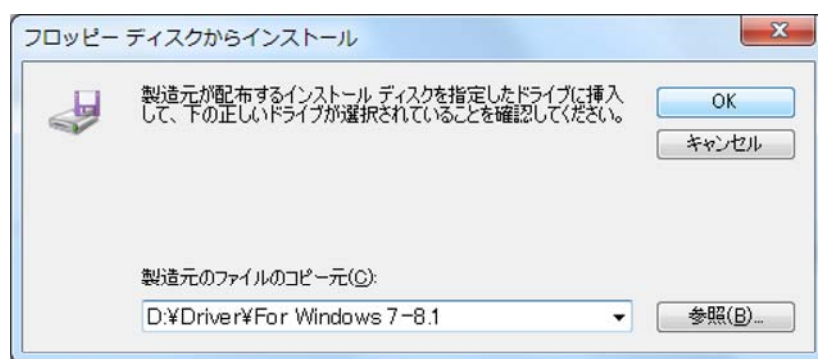
(9) 「次へ」を選択します。



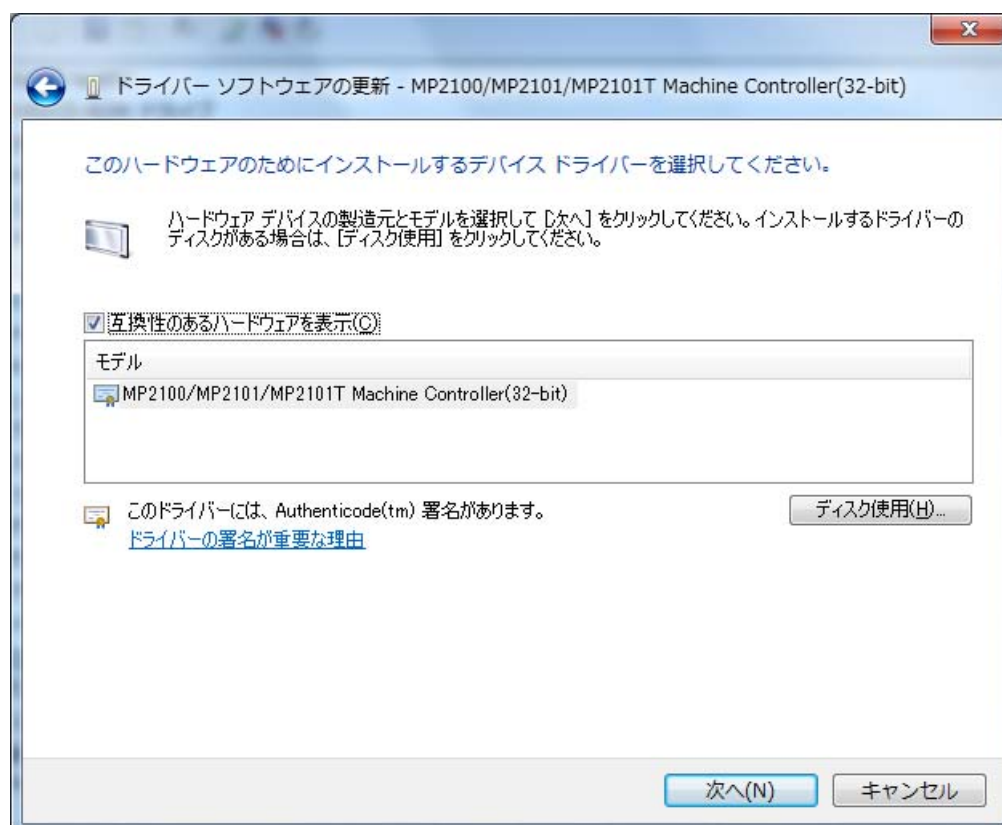
(10) 「ディスク使用(H)」を選択します。



(11) インストールCDのパスを指定します。インストールCD内の“Driver¥For Windows 7-8.1”を指定して[OK]ボタンを選択します。



(12) 「次へ(N)」を選択します。



MP2100/MP3100の機種により、インストールするデバイス ドライバは下記名称で表示されます。

【MP2100/MP2101/MP2101Tドライバ名称】

- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (64-bit)”

【MP2100M/MP2101M/MP2101TMドライバ名称】

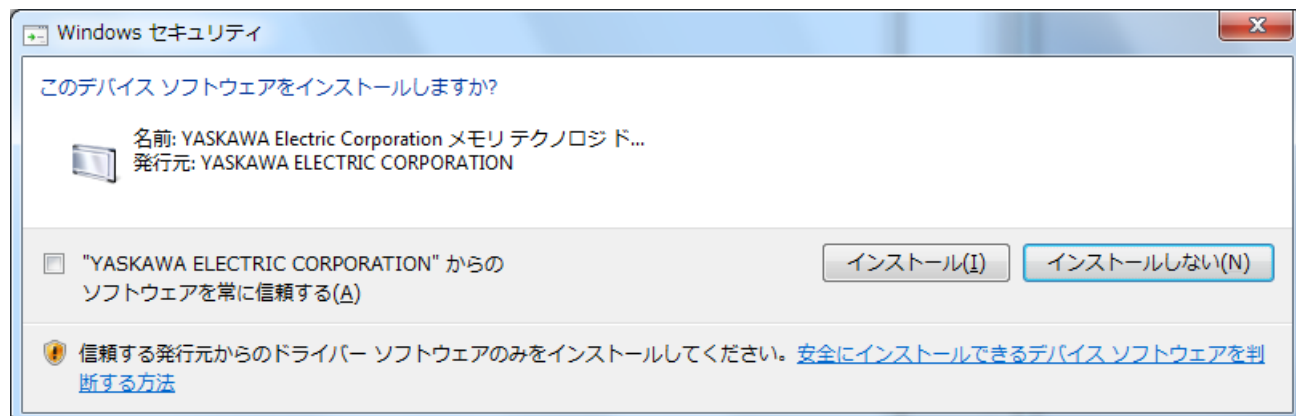
- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (64-bit)”

【MP3100ドライバ名称】

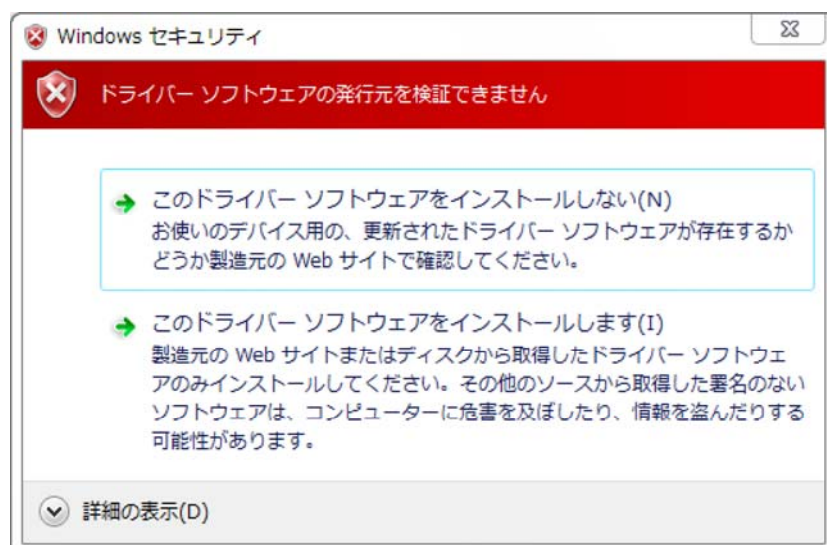
- ・“MP3100 Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP3100 Machine Controller (64-bit)”

32bit環境の場合ドライバ名称の末尾は(32-bit)、64bit環境の場合はドライバ名称の末尾は(64-bit)になります。

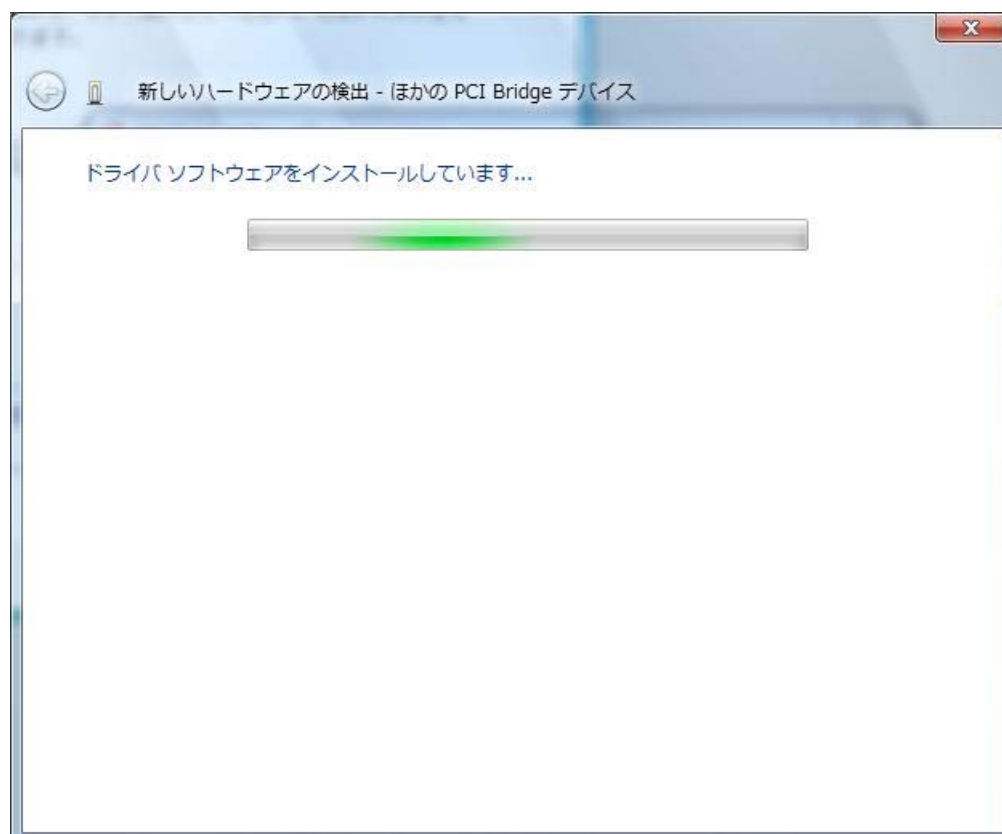
(13) “インストール(I)”を選択してください。



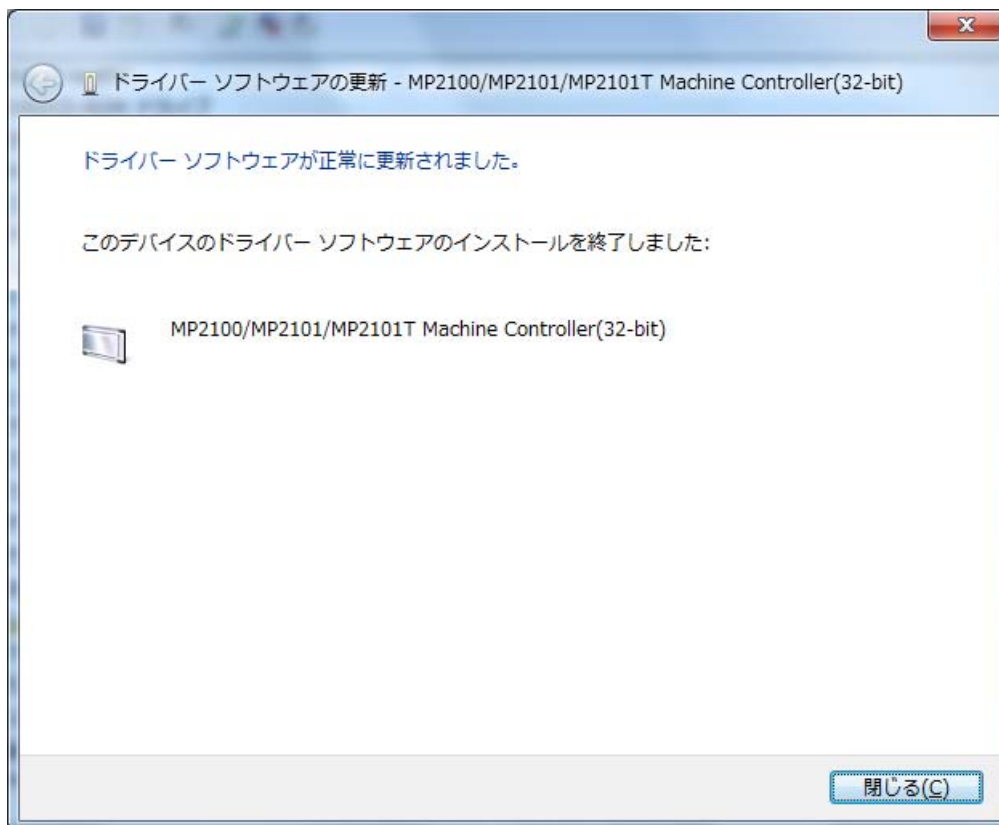
この時、Windows7の更新プログラムの適応状況によっては、以下の“Windowsセキュリティ”が表示されます。この場合は、“このドライバーソフトウェアをインストールします(I)”を選択してください。



(14) 必要なファイルのコピーが始まりますので、終了するまでお待ちください。



(15)コピーが終了したらインストールの完了が通知されますので[閉じる(C)]ボタンを選択します。



※下記メッセージが表示される場合、Windows7に「[ソフトウェア仕様 Windows7](#)」記載のセキュリティ更新プログラムのインストールを行う必要があります。
インストールを行いWindows7の再起動後、[インストール状況の確認](#)を行いMP2100/MP3100がシステムに正しく認識されていることを確認してください。



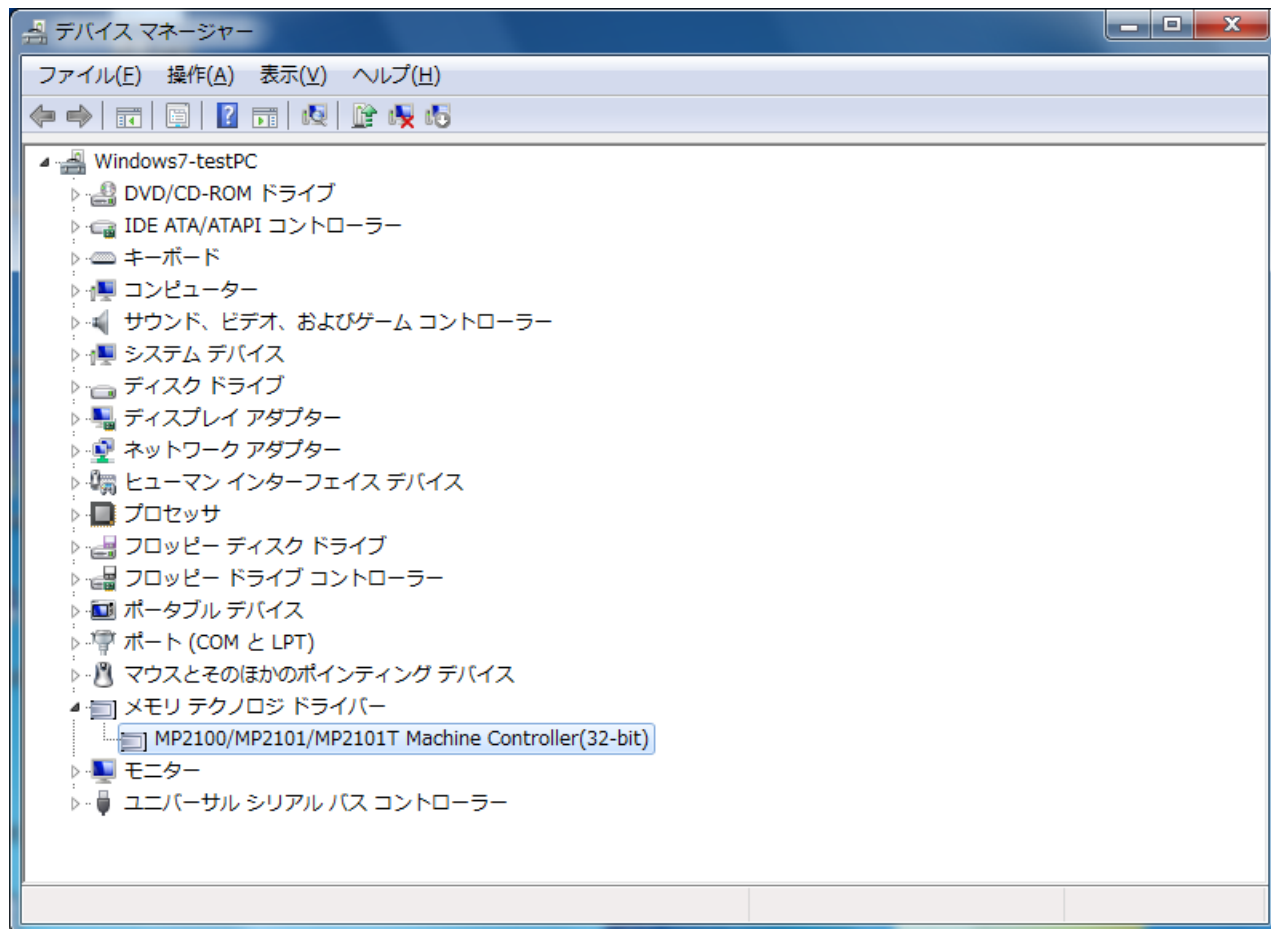
(16)これでドライバのインストールが完了しました。

2. インストール状況の確認

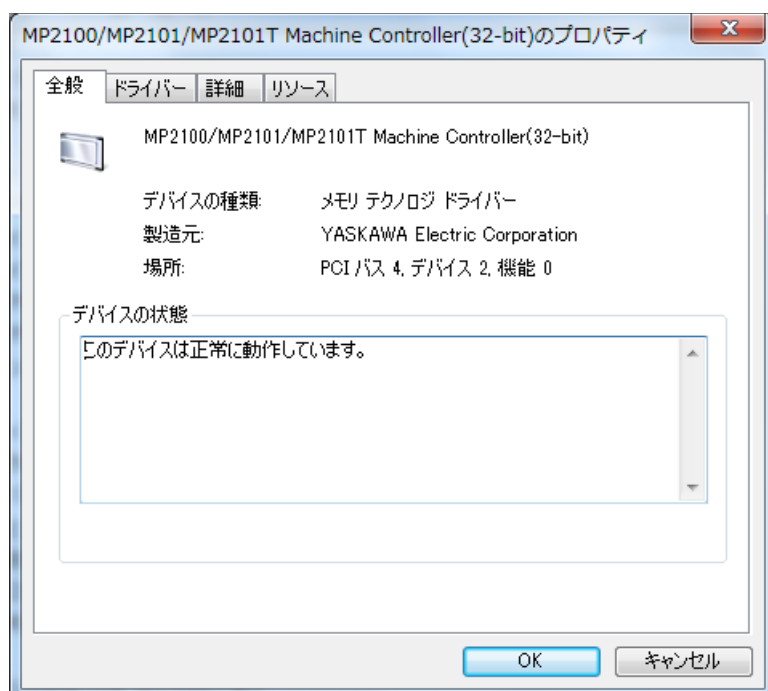
MP2100/MP3100がシステムに正しく認識されていること、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

(1) 「1. ドライバのインストール」の(3)～(5)を実行して、デバイスマネージャーを開きます。

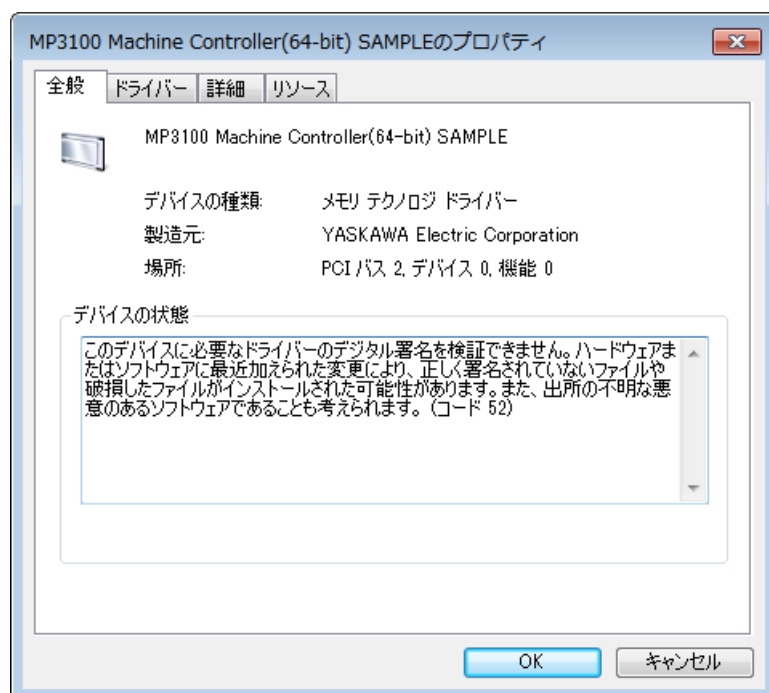
(2) “メモリテクノロジードライバー”の下に“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller(32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”をダブルクリックします。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



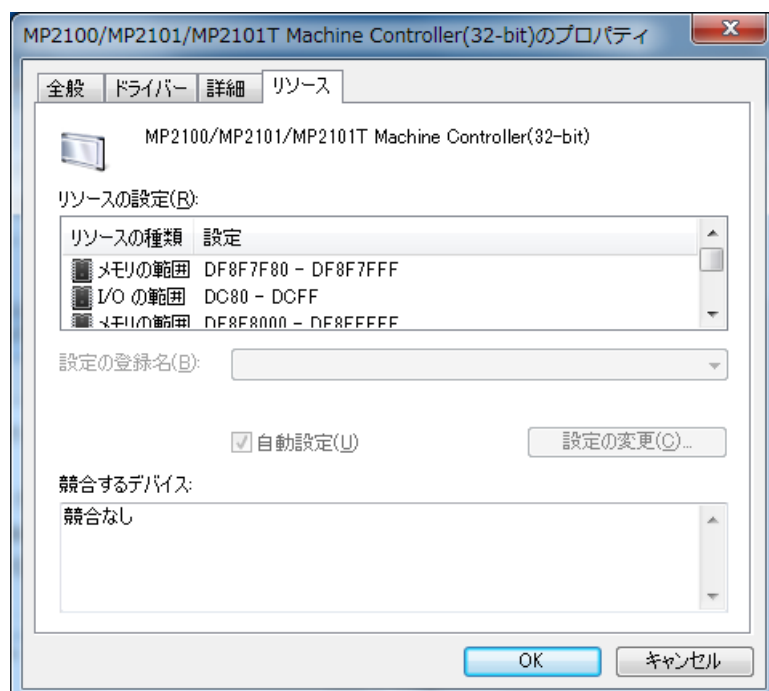
(3) デバイスの状態に“このデバイスは正常に動作しています。”と表示されていることを確認します。



※デバイスの状態に下記メッセージが記載されている場合、Windows7に「[ソフトウェア仕様 Windows7](#)」記載のセキュリティ更新プログラムのインストールを行う必要があります。
インストールを行いWindows7の再起動後、デバイスの状態に“このデバイスは正常に動作しています。”と表示されていることを確認してください。



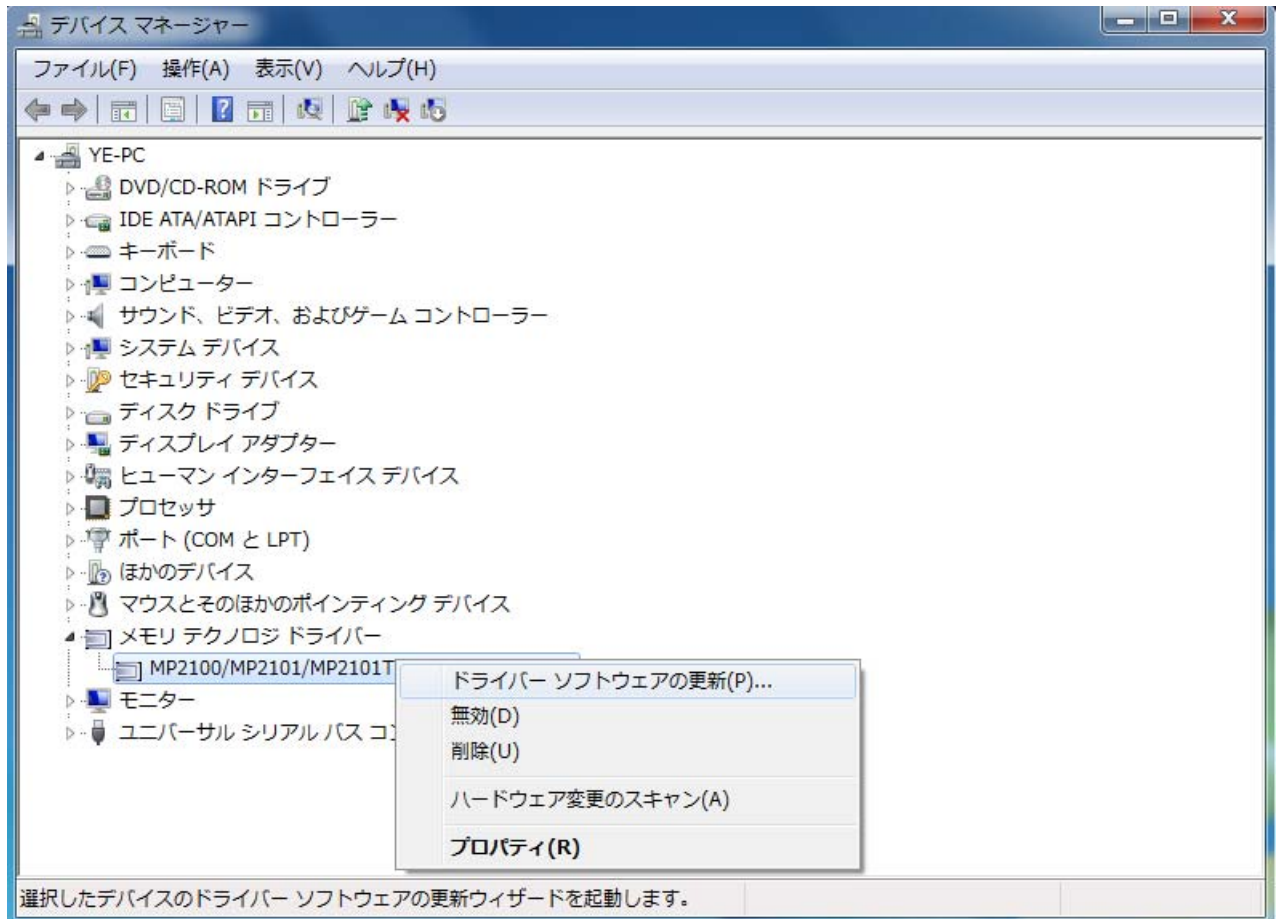
(4) 「リソース」タブコントロールを開きます。競合するデバイスが“競合なし”と表示されていることを確認します。



ここまで正常に終了すれば、MP2100/MP3100を使用することができます。ここまで正常に終了しなかった場合は、インストール作業をもう一度行ってください。

1. ドライバの更新インストール

- (1) Cを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットにコントローラ基板を装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 7を起動して下さい。
- (3) 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- (4) 「システムとセキュリティ」を選択します。
- (5) 「デバイスマネージャー」を選択します。
- (6) “MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



以降の作業は「[Windows 7 にインストールする方法](#)」の「(7) “コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します (R)”を選択します。」以降の作業と同様になります。

導入・設定

ドライバのインストール (Windows 8 / Windows 8.1)

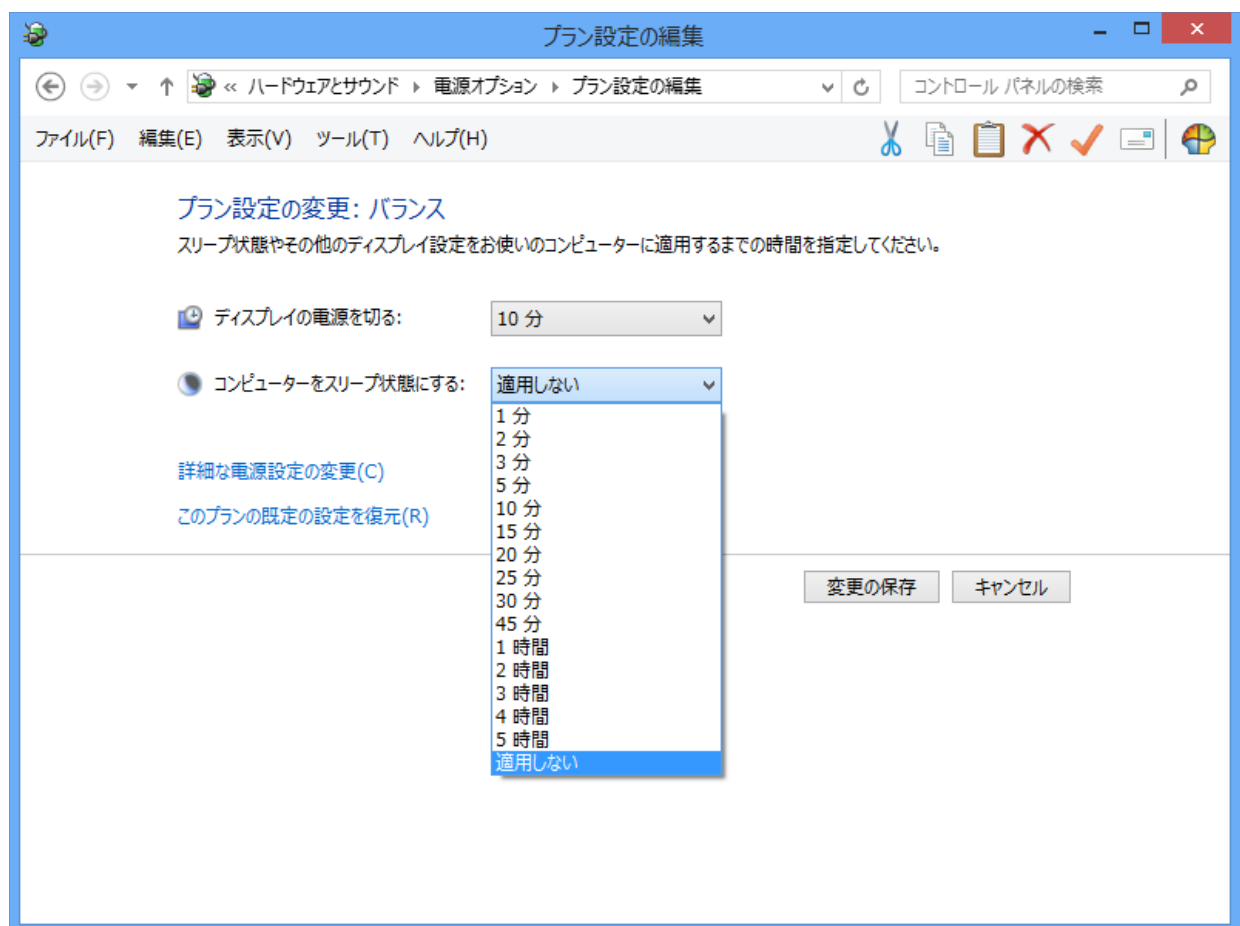
ここでは、Windows 8/Windows8.1へのドライバインストール手順を記載します。

下記手順では、CD-ROMドライブをDドライブとして説明します。お使いになるPCのドライブ名に合わせて読み替えてください。

- [電源設定について](#)
- [Windows 8 にインストールする方法](#)
- [Windows 8 に更新インストールする方法](#)

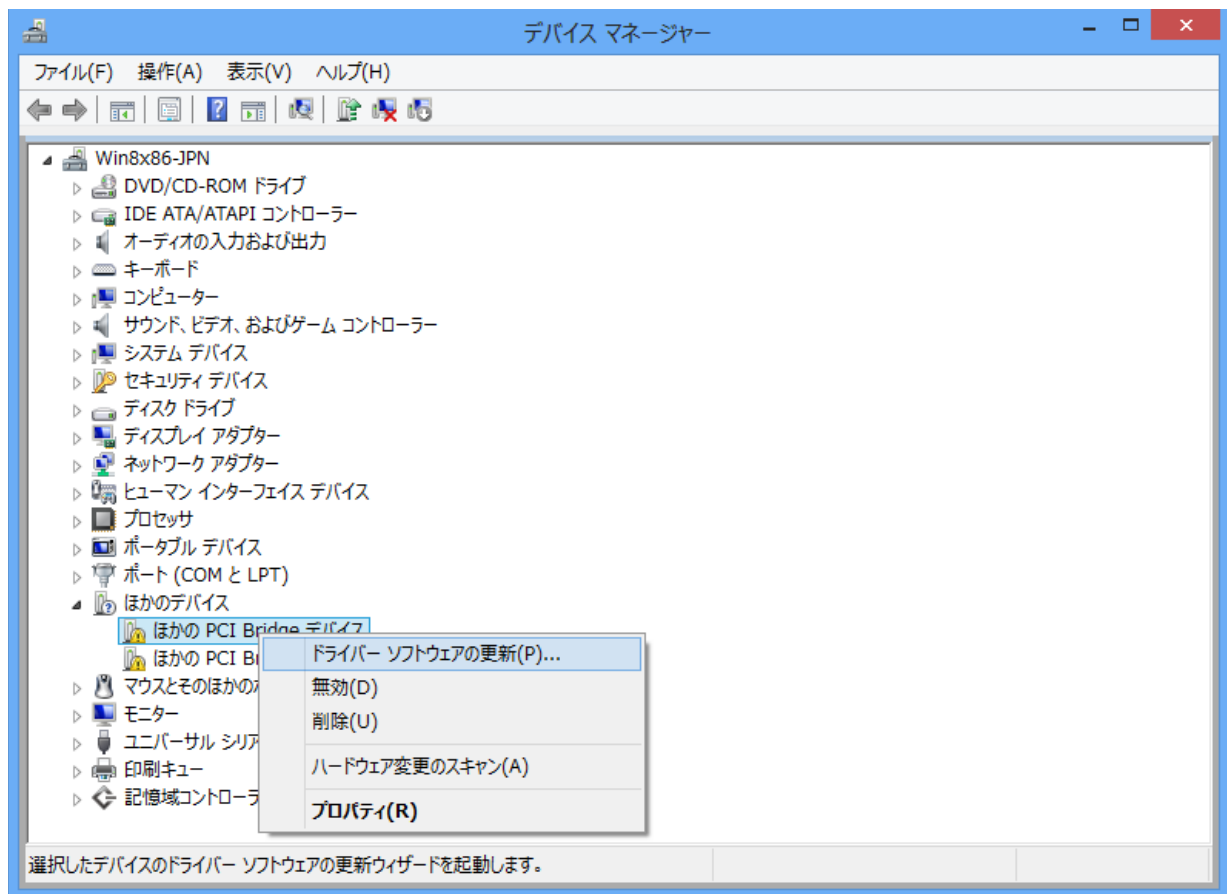
【電源設定について】

「コントロールパネル」の「電源オプション」->「コンピュータがスリープ状態になる時間を変更」をクリックし、「コンピュータをスリープ状態にする」を「適用しない」に設定してください。

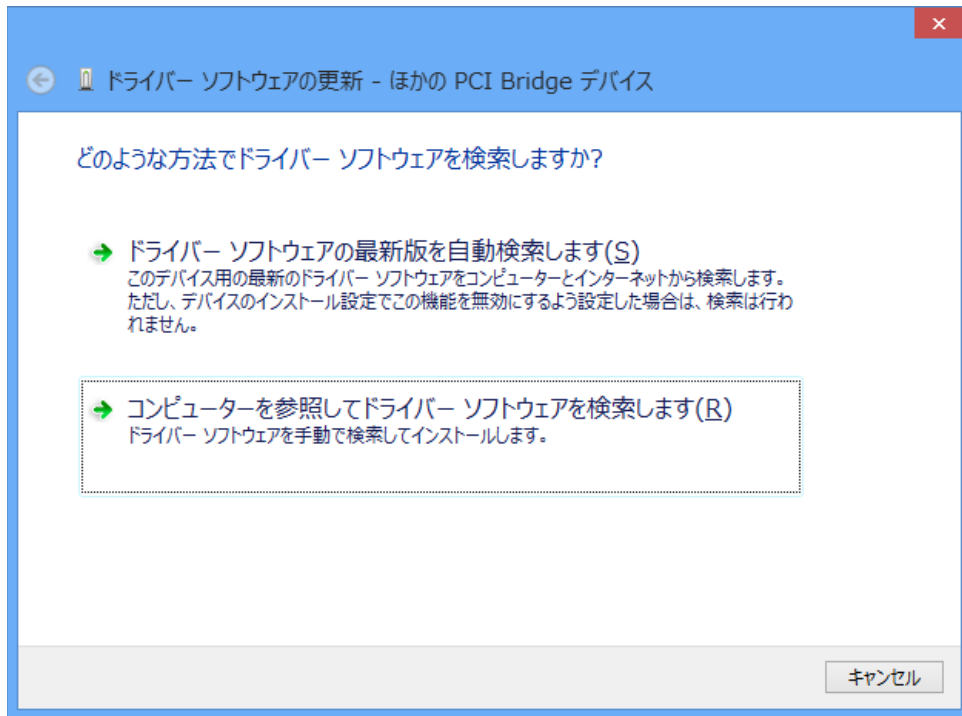


1. ドライバのインストール

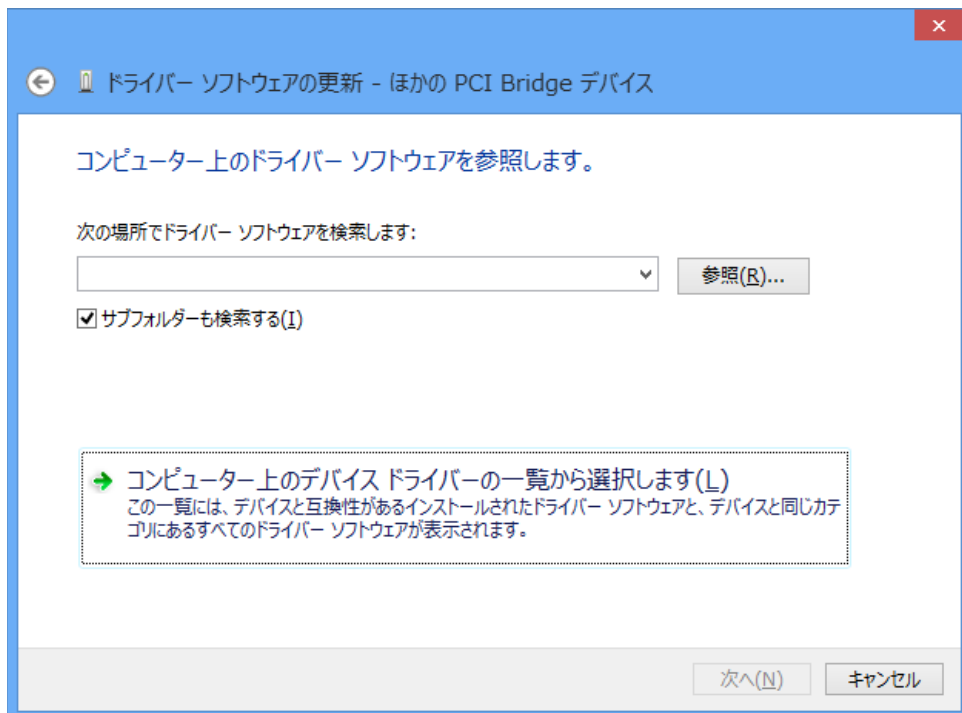
- (1) PCを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットにコントローラ基板を装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 8を起動して下さい。
- (3) 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- (4) 「システムとセキュリティ」を選択します。
- (5) 「デバイスマネージャー」を選択します。
- (6) MP2100の場合は「ほかのPCI Bridge デバイス」、MP3100の場合は「DPIOモジュール」にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。(Windows8ではプラグアンドプレイにより、Windows XPでの「新しいハードウェアの検出ウィザード」に相当するものが表示されないため、手動でインストールウィザードを表示する必要があります。)



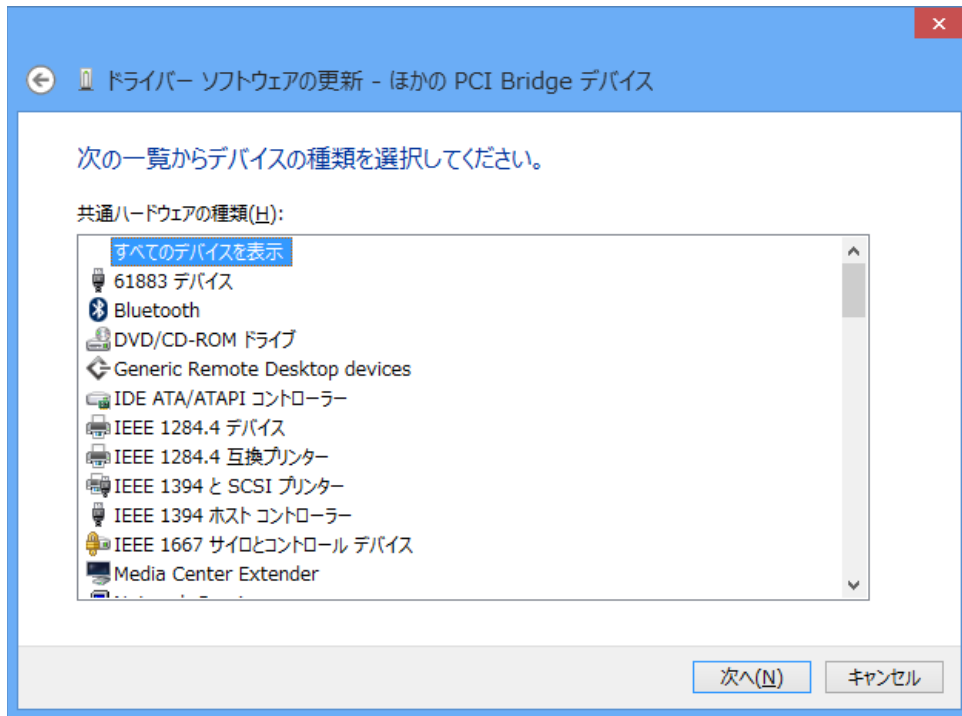
(7) “コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)”を選択します。



(8) “コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L)”を選択します。



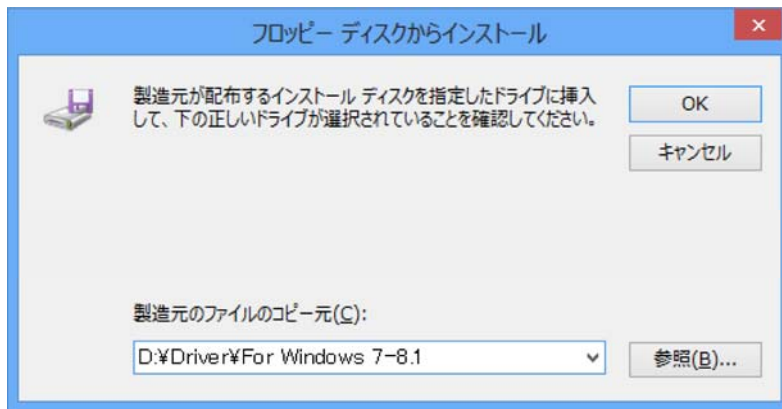
(9) 「次へ」を選択します。



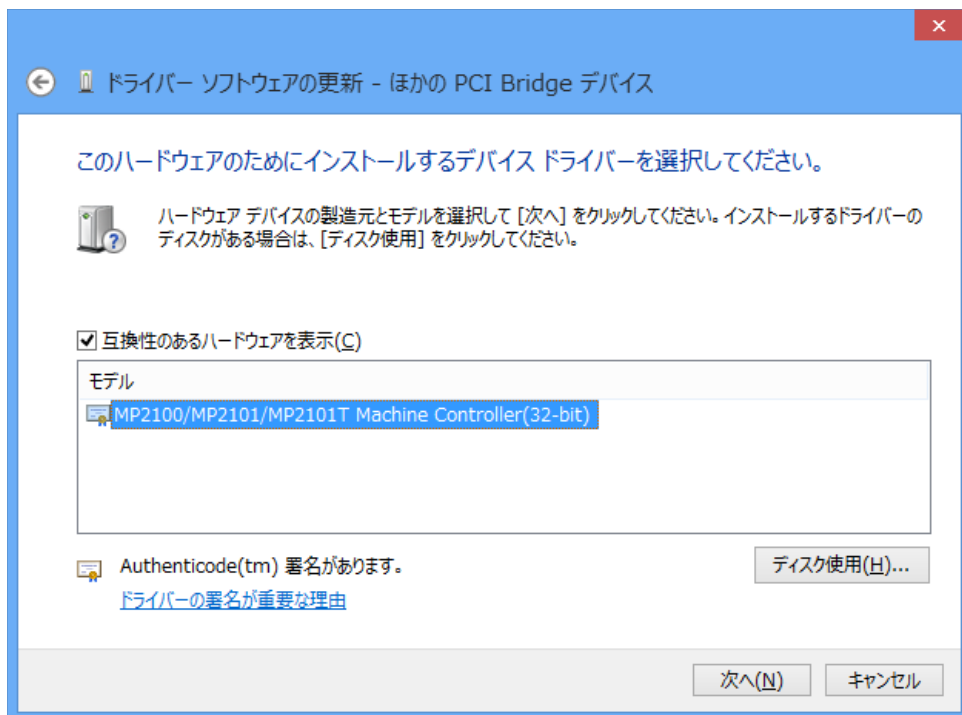
(10) 「ディスク使用(H)」を選択します。



(11) インストールCDのパスを指定します。インストールCD内の“Driver¥For Windows 7-8.1”を指定して[OK]ボタンを選択します。



(12) 「次へ(N)」を選択します。



MP2100/MP3100の機種により、インストールするデバイス ドライバは下記名称で表示されます。

【MP2100/MP2101/MP2101Tドライバ名称】

- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (64-bit)”

【MP2100M/MP2101M/MP2101TMドライバ名称】

- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (64-bit)”

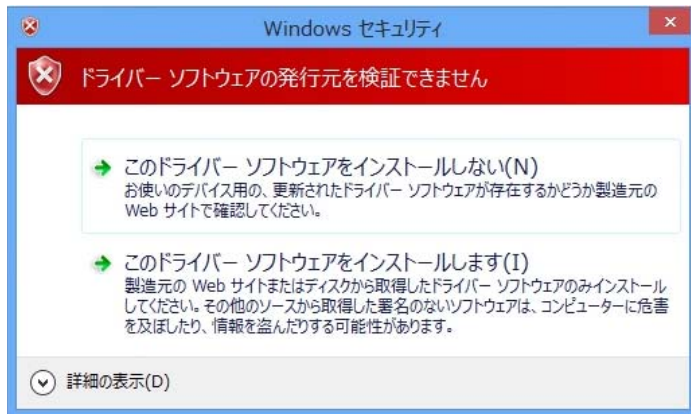
【MP3100ドライバ名称】

- ・“MP3100 Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP3100 Machine Controller (64-bit)”

32bit環境の場合、ドライバ名称の末尾は(32-bit)、64bit環境の場合はドライバ名称の末尾は(64-bit)になります。

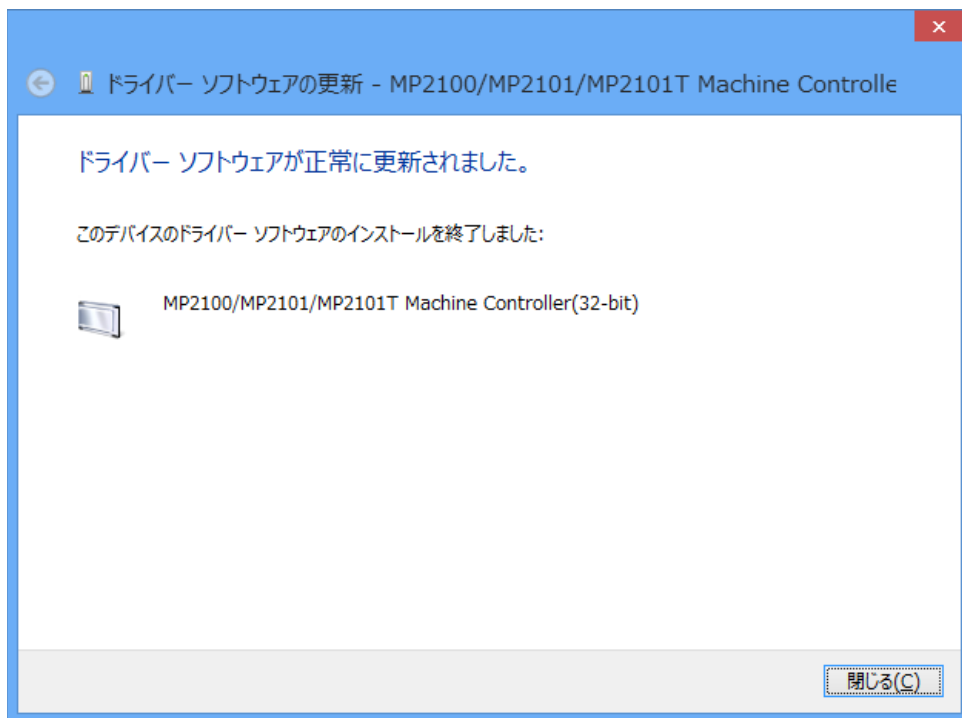
(13) “インストール(I)”を選択してください。

※この時、更新プログラムの適応状況によっては、“Windowsセキュリティ警告”が表示されます。
その場合は、この場合は、“このドライバーソフトウェアをインストールします(I)”を選択してください。



(14) 必要なファイルのコピーが始まりますので、終了するまでお待ちください。

(15) コピーが終了したらインストールの完了が通知されますので[閉じる(C)]ボタンを選択します。



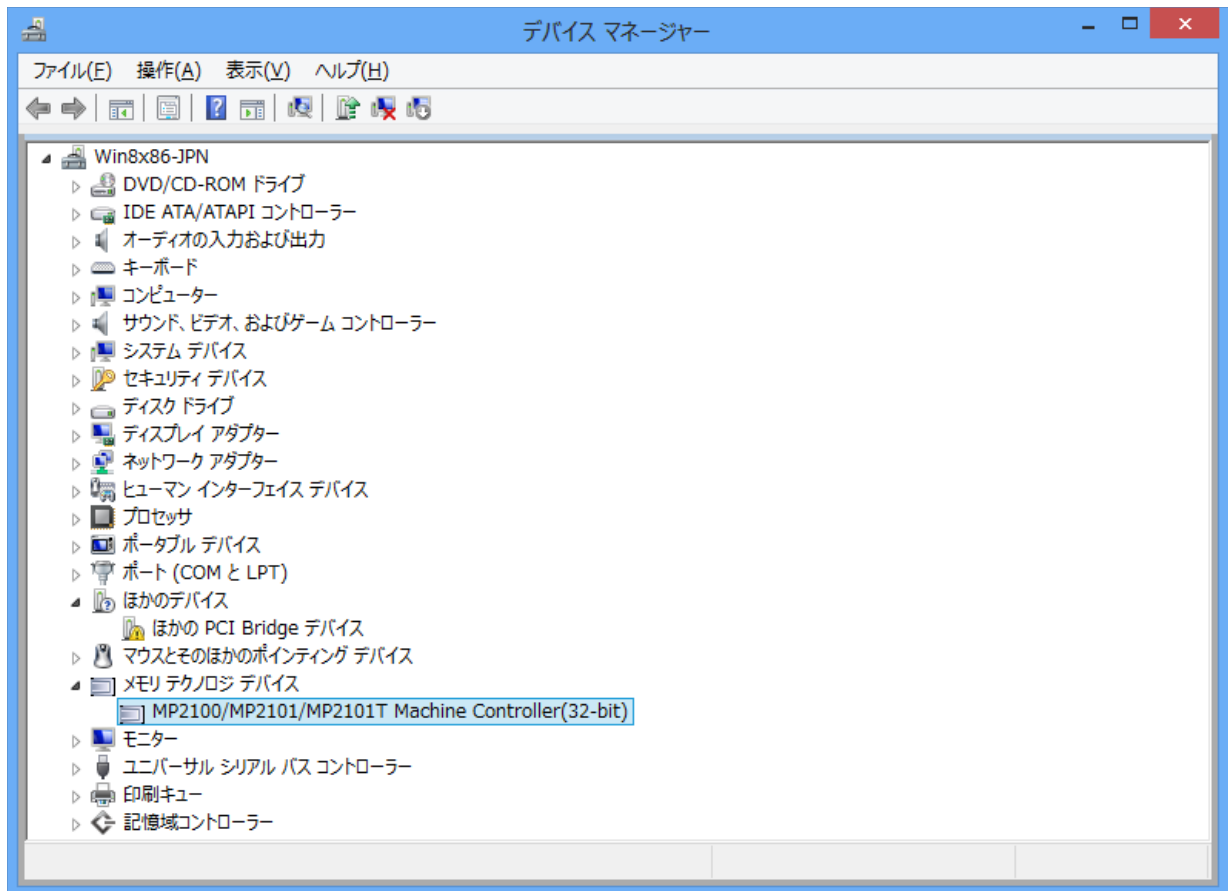
(16) これでドライバのインストールが完了しました。

2. インストール状況の確認

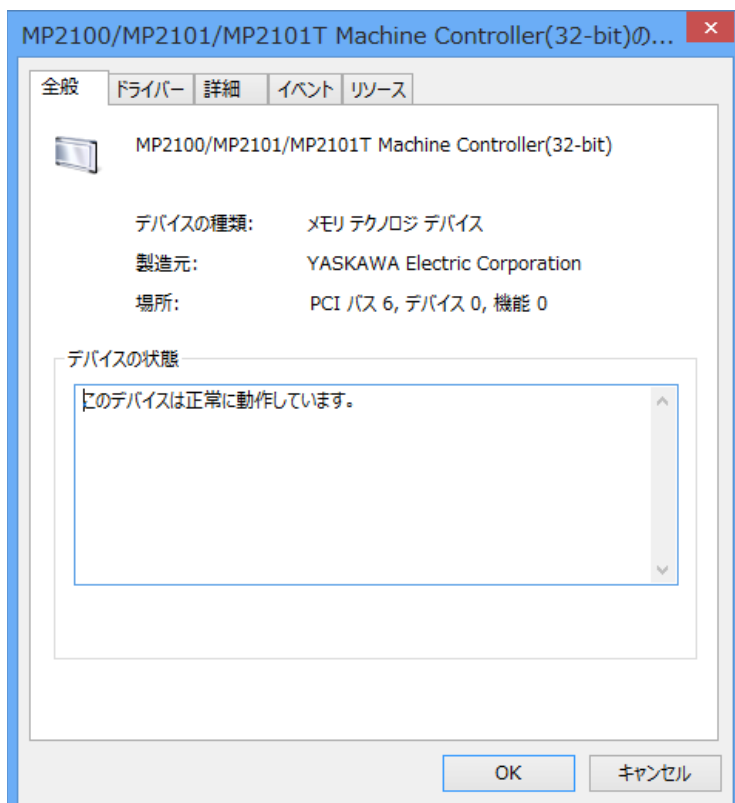
MP2100/MP3100がシステムに正しく認識されていること、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

(1) 「1. ドライバのインストール」の(3)～(5)を実行して、デバイスマネージャーを開きます。

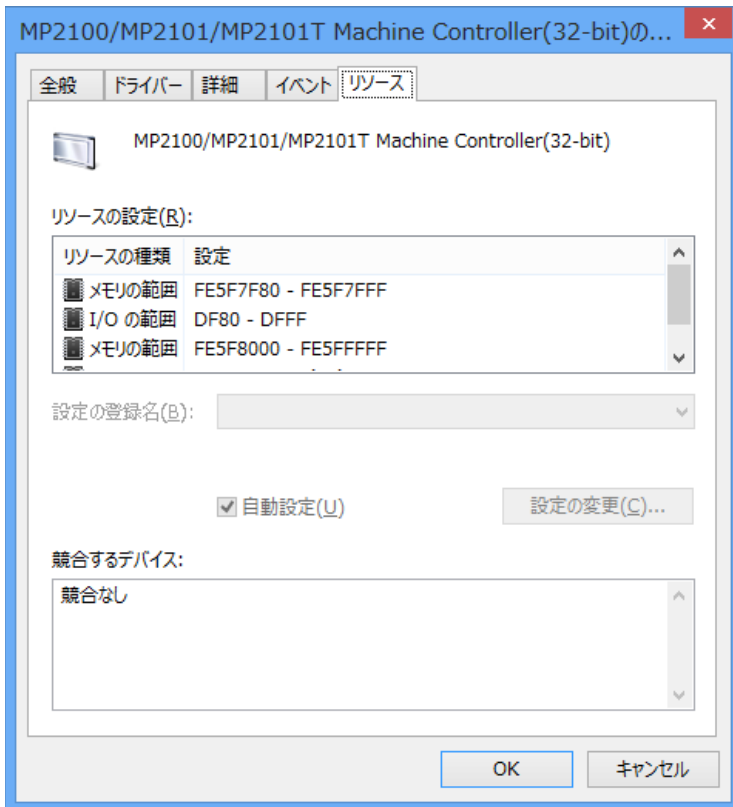
(2) “メモリテクノロジードライバー”の下に“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller(32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”をダブルクリックします。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



(3) デバイスの状態が“このデバイスは正常に動作しています。”と表示されていることを確認します。



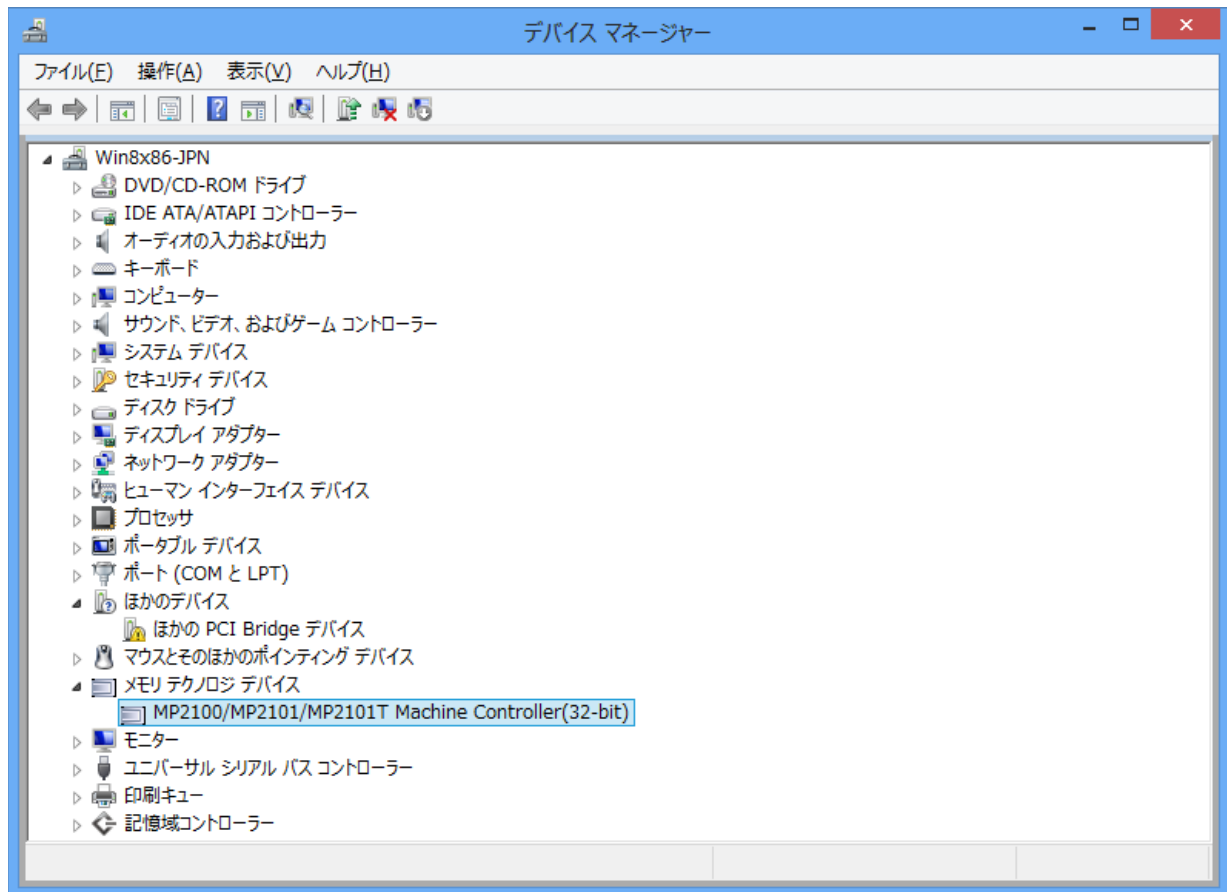
(4)「リソース」タブコントロールを開きます。競合するデバイスが“競合なし”と表示されていることを確認します。



ここまで正常に終了すれば、MP2100/MP3100を使用することができます。ここまで正常に終了しなかった場合は、インストール作業をもう一度行ってください。

1. ドライバの更新インストール

- (1) PCを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットに装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 8を起動して下さい。
- (3) 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
- (4) 「システムとセキュリティ」を選択します。
- (5) 「デバイスマネージャー」を選択します。
- (6) “MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller(32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



以降の作業は「[Windows 8 にインストールする方法](#)」の「(7) “コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)”を選択します。」以降の作業と同様になります。

導入・設定

ドライバのインストール (Windows 10/Windows 11)

ここでは、Windows 10/Windows 11へのドライバインストール手順を記載します。

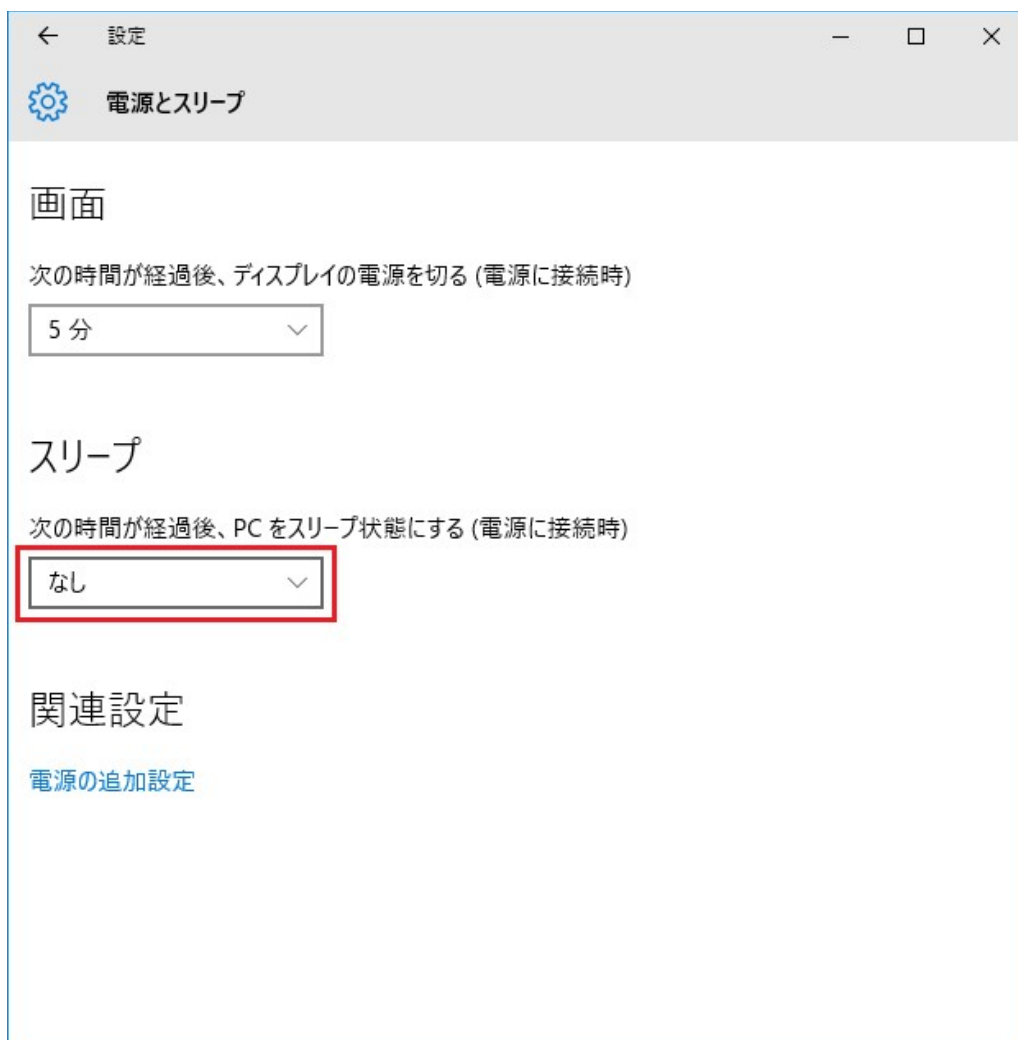
下記手順では、CD-ROMドライブをDドライブとして説明します。お使いになるPCのドライブ名に合わせて読み替えてください。

- [電源設定について](#)
- [Windows 10/Windows 11 にインストールする方法](#)
- [Windows 10/Windows 11 に更新インストールする方法](#)


【電源設定について】

Windowsボタンをクリックし、「設定」->「システム」->「電源とスリープ」からスリープの時間を「なし」に設定してください。


■Windows 10



システム > 電源

-  画面がオフにならないように設定されています。これにより、より多くの電力が使用され、炭素排出量が高くなります。



 画面の電源を切ることを許可する



エネルギーに関する推奨事項

これらの推奨事項を適用して二酸化炭素排出量を削減する

1/4



電源



画面とスリープ



電源接続時に、次の時間が経過した後に画面の電源を切る:


なし



電源接続時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする:

なし



-  高パフォーマンス電源設定を使用している場合は、電源モードを設定できません。

[電源モードに関する詳細](#)

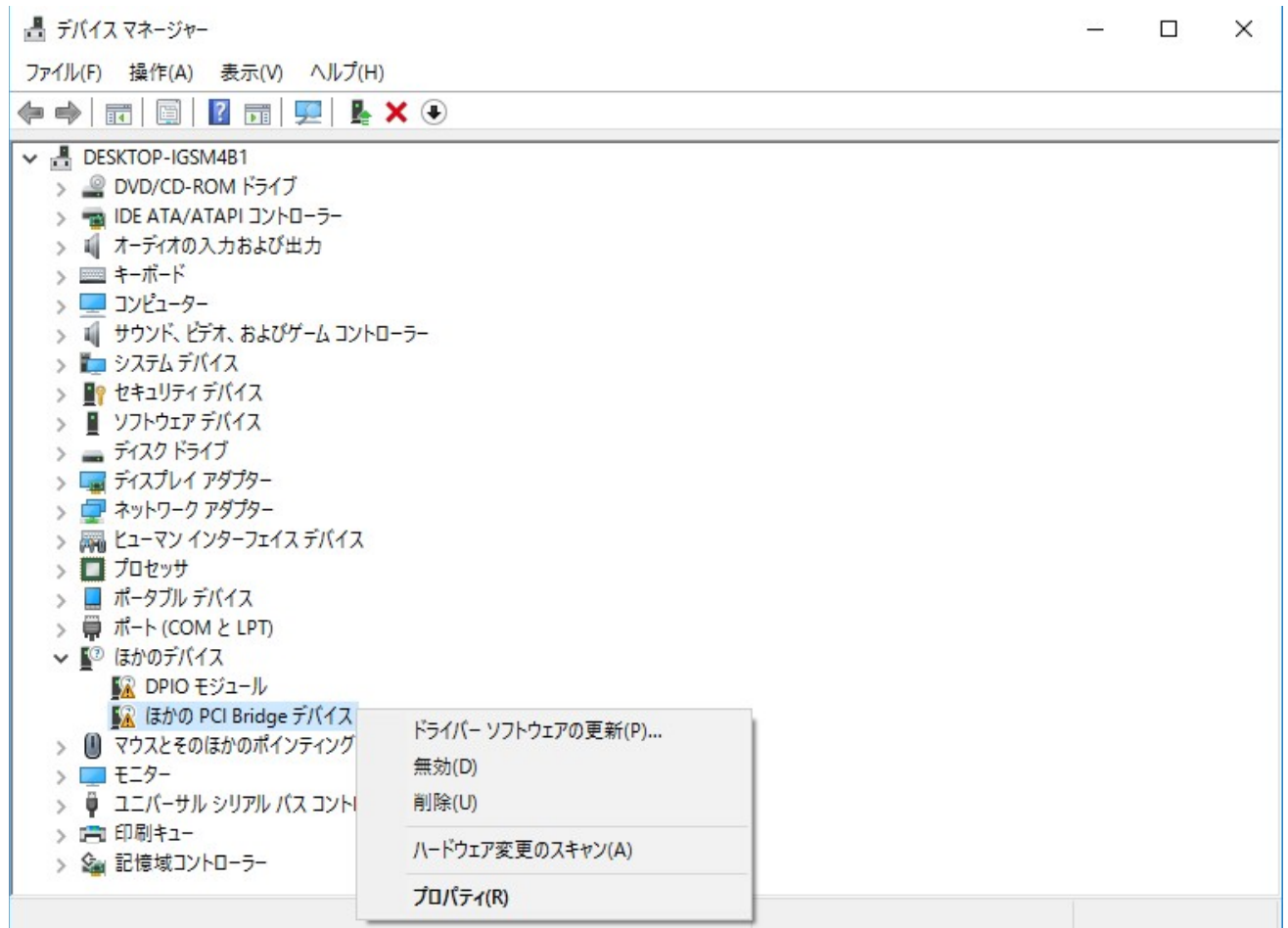


電源モード

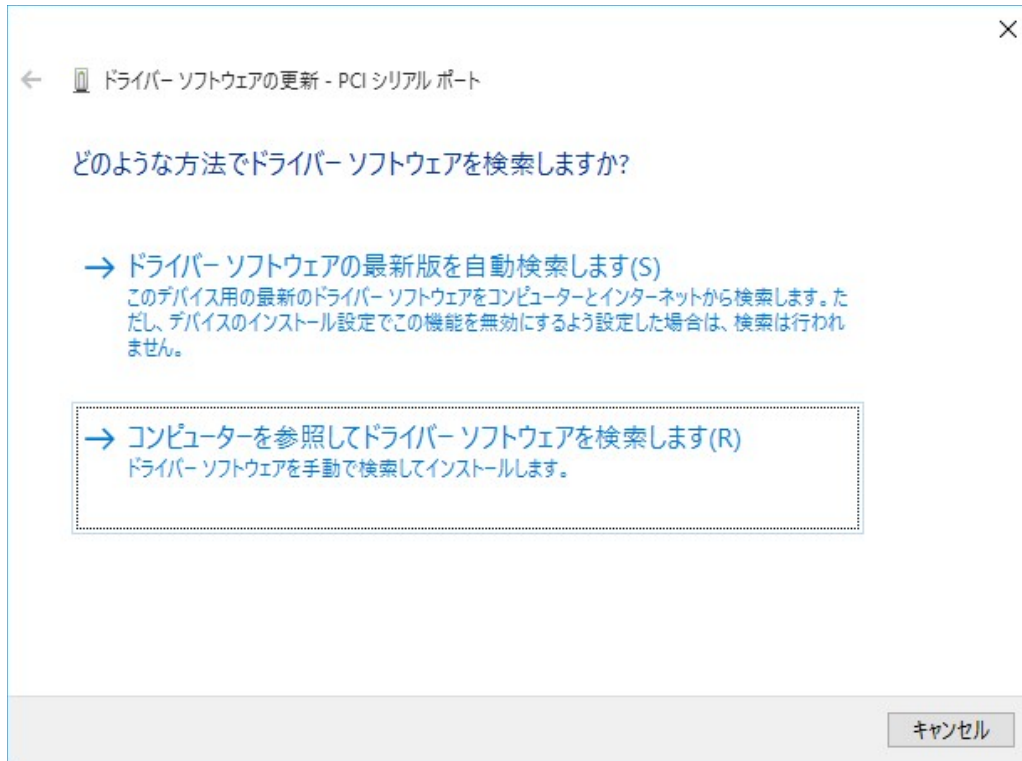
電力消費とパフォーマンスに基づいてデバイスを最適化

1. ドライバのインストール

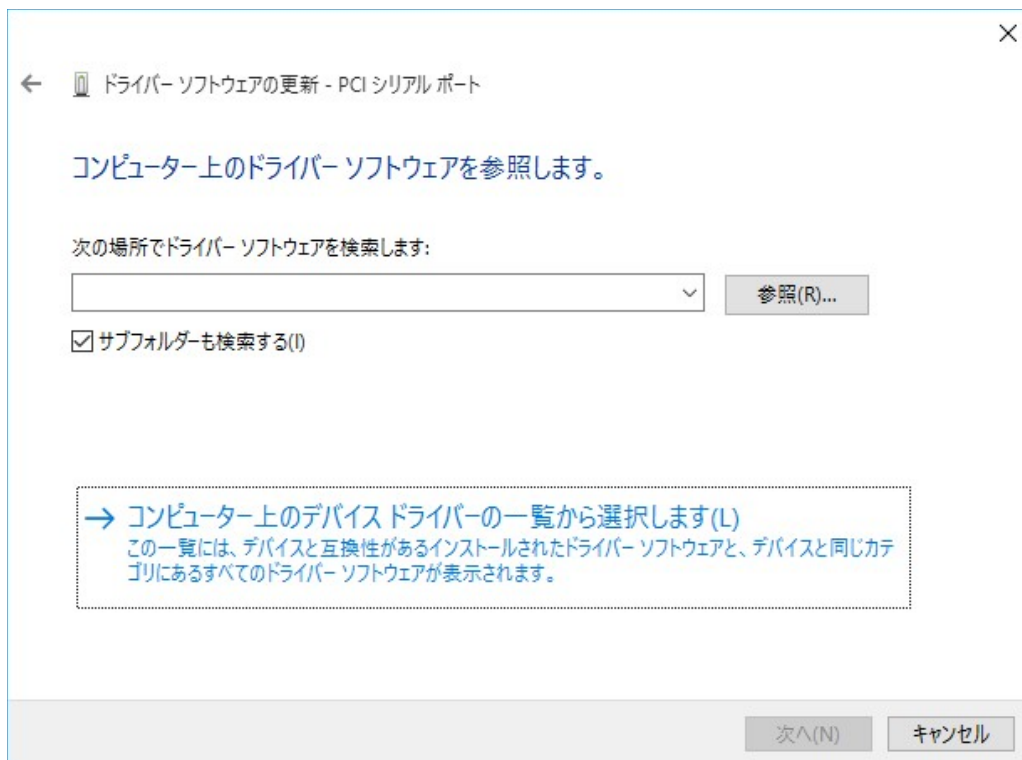
- (1) PCを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットにコントローラ基板を装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 10、またはWindows 11を起動して下さい。
- (3) Windowsボタン→「設定」→「デバイス」→「接続中のデバイス」を選択します。
- (4) 関連設定の「デバイスマネージャー」を選択します。
- (5) MP2100の場合は「ほかのPCI Bridge デバイス」、MP3100の場合は「DPIO モジュール」にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。



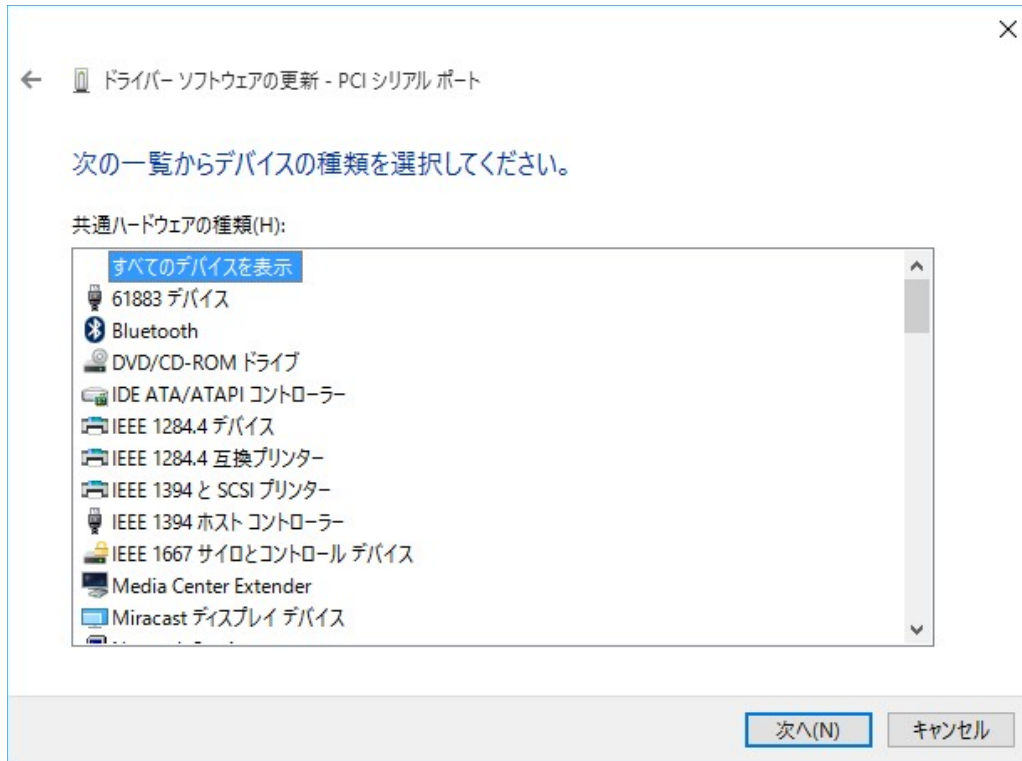
(6) “コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)”を選択します。



(7) “コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L)”を選択します。



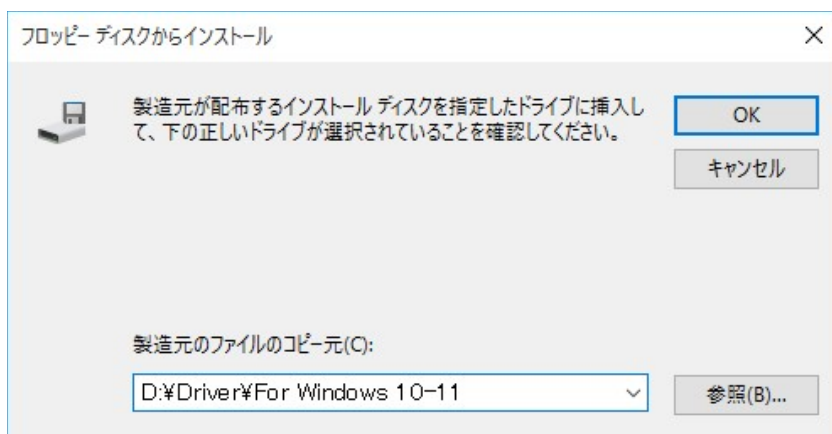
(8) 「次へ」を選択します。



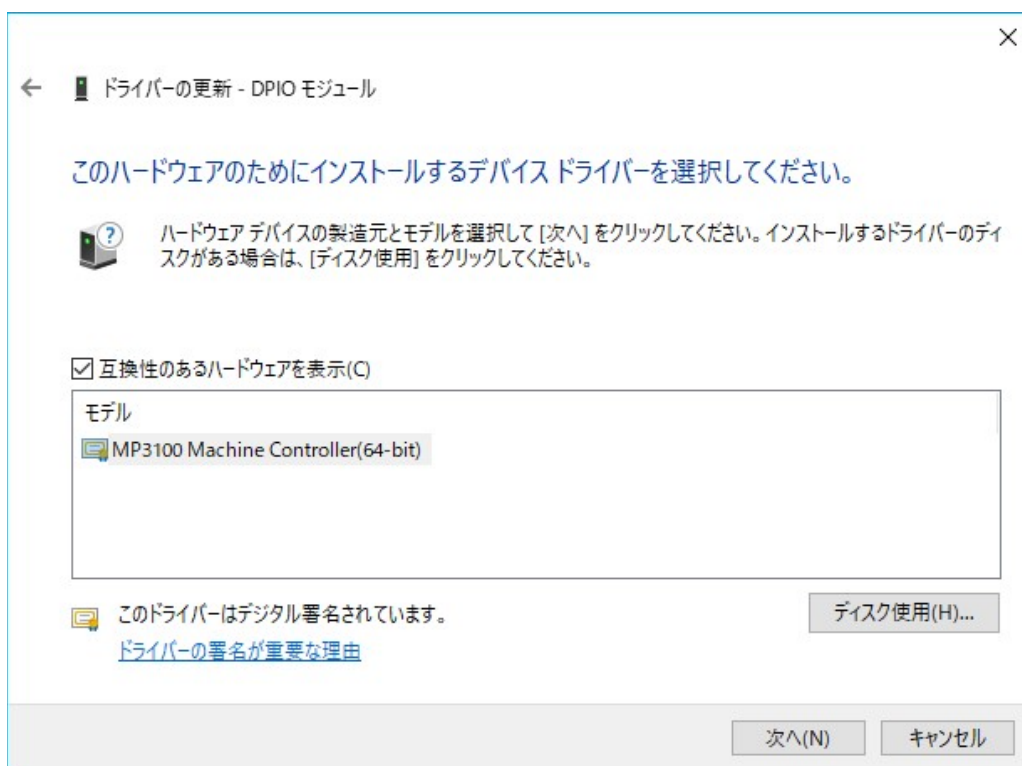
(9) 「ディスク使用(H)」を選択します。



(10) インストールCDのパスを指定します。インストールCD内の“Driver¥For Windows 10-11”を指定して[OK]ボタンを選択します。



(11) 「次へ(N)」を選択します。



MP2100/MP3100の機種により、インストールするデバイス ドライバは下記名称で表示されます。

【MP2100/MP2101/MP2101Tドライバ名称】

- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller (64-bit)”

【MP2100M/MP2101M/MP2101TMドライバ名称】

- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (64-bit)”

【MP3100ドライバ名称】

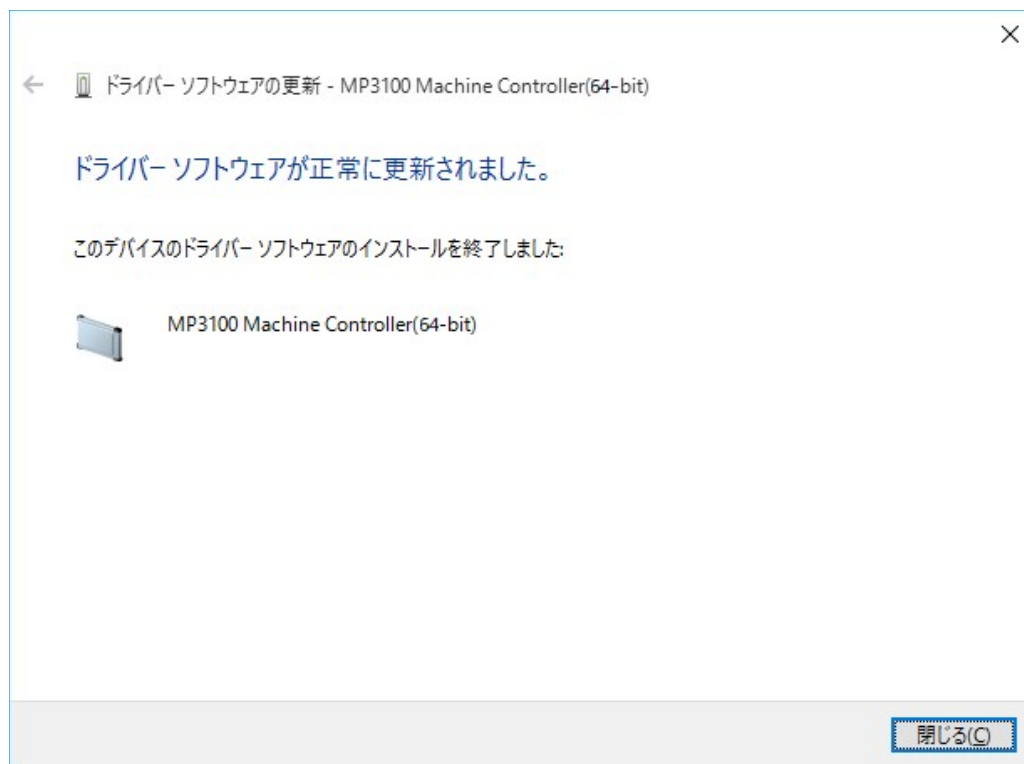
- ・“MP3100 Machine Controller (32-bit)”
- ・“MP3100 Machine Controller (64-bit)”

32bit環境の場合、ドライバ名称の末尾は(32-bit)、64bit環境の場合はドライバ名称の末尾は(64-bit)になります。

(12) “インストール(I)”を選択してください。

(13) 必要なファイルのコピーが始まりますので、終了するまでお待ちください。

(14) コピーが終了したらインストールの完了が通知されますので[閉じる(C)]ボタンを選択します。



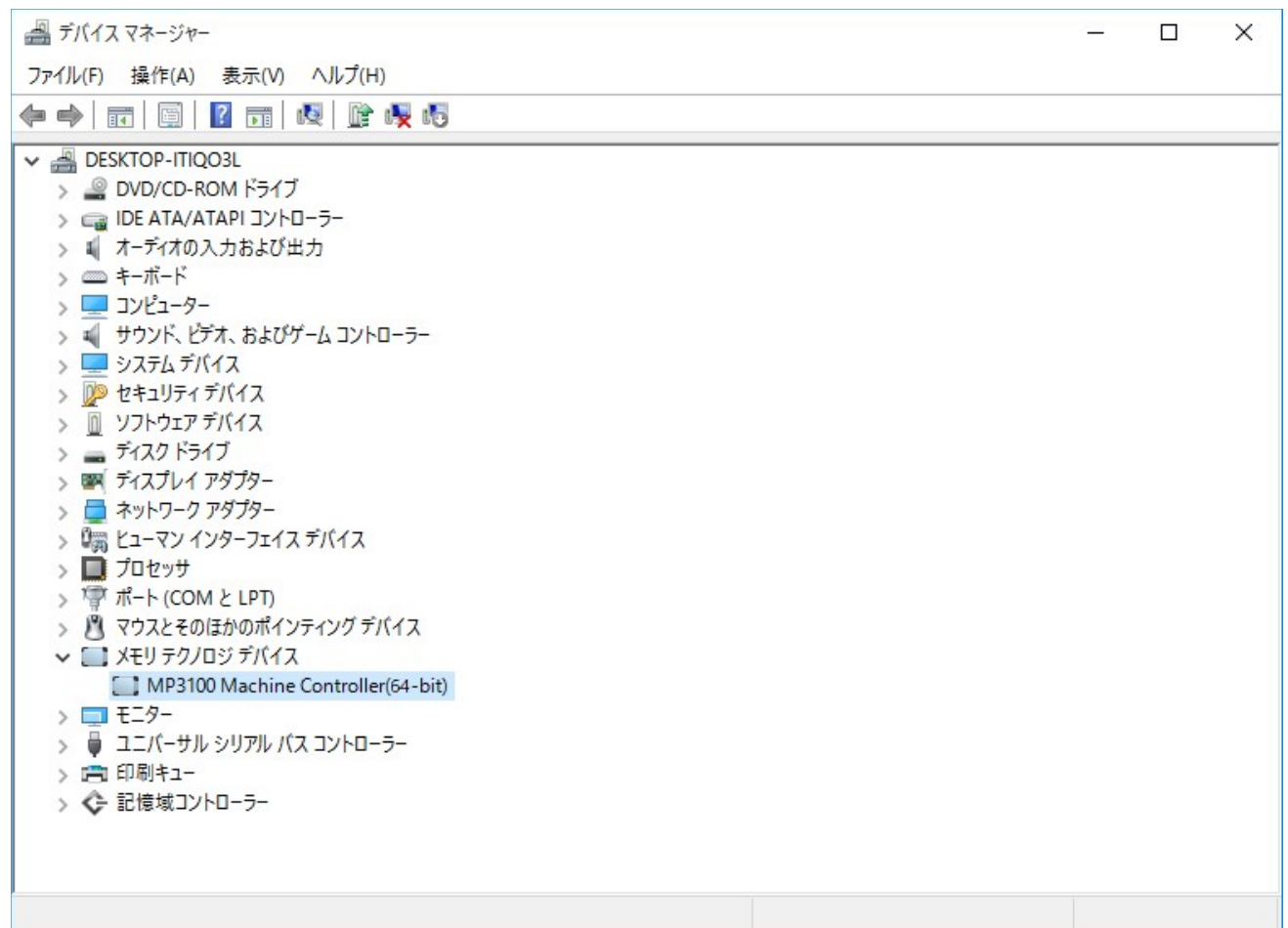
(15) これでドライバのインストールが完了しました。

2. インストール状況の確認

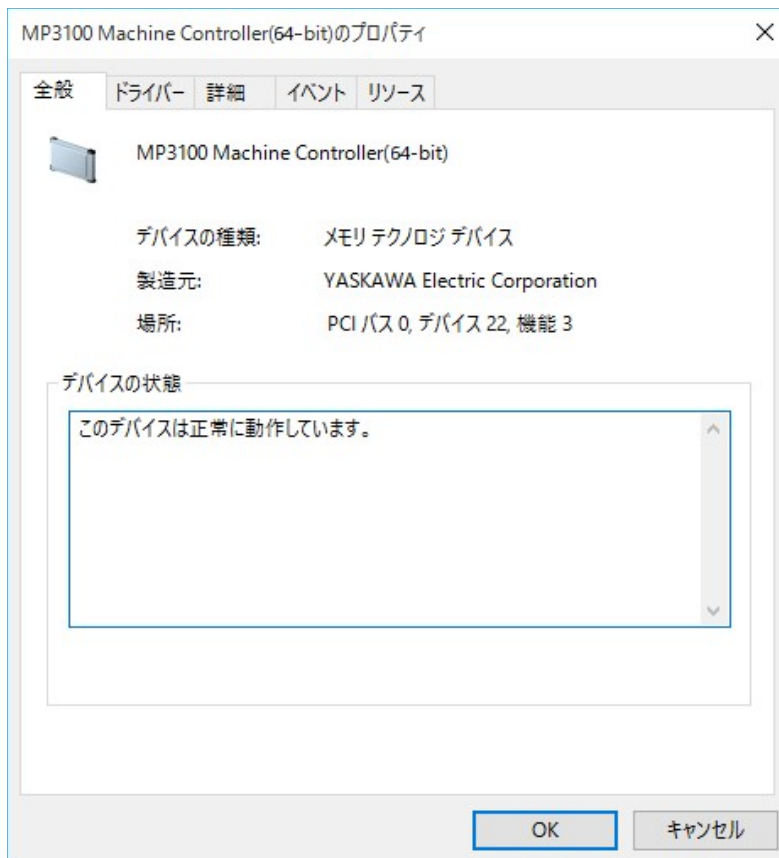
MP2100/MP3100がシステムに正しく認識されていること、ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

(1) 「1. ドライバのインストール」の(3)～(4)を実行して、デバイスマネージャーを開きます。

(2) “メモリテクノロジードライバー”の下に“MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller(32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”をダブルクリックします。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



(3) デバイスの状態が“このデバイスは正常に動作しています。”と表示されていることを確認します。



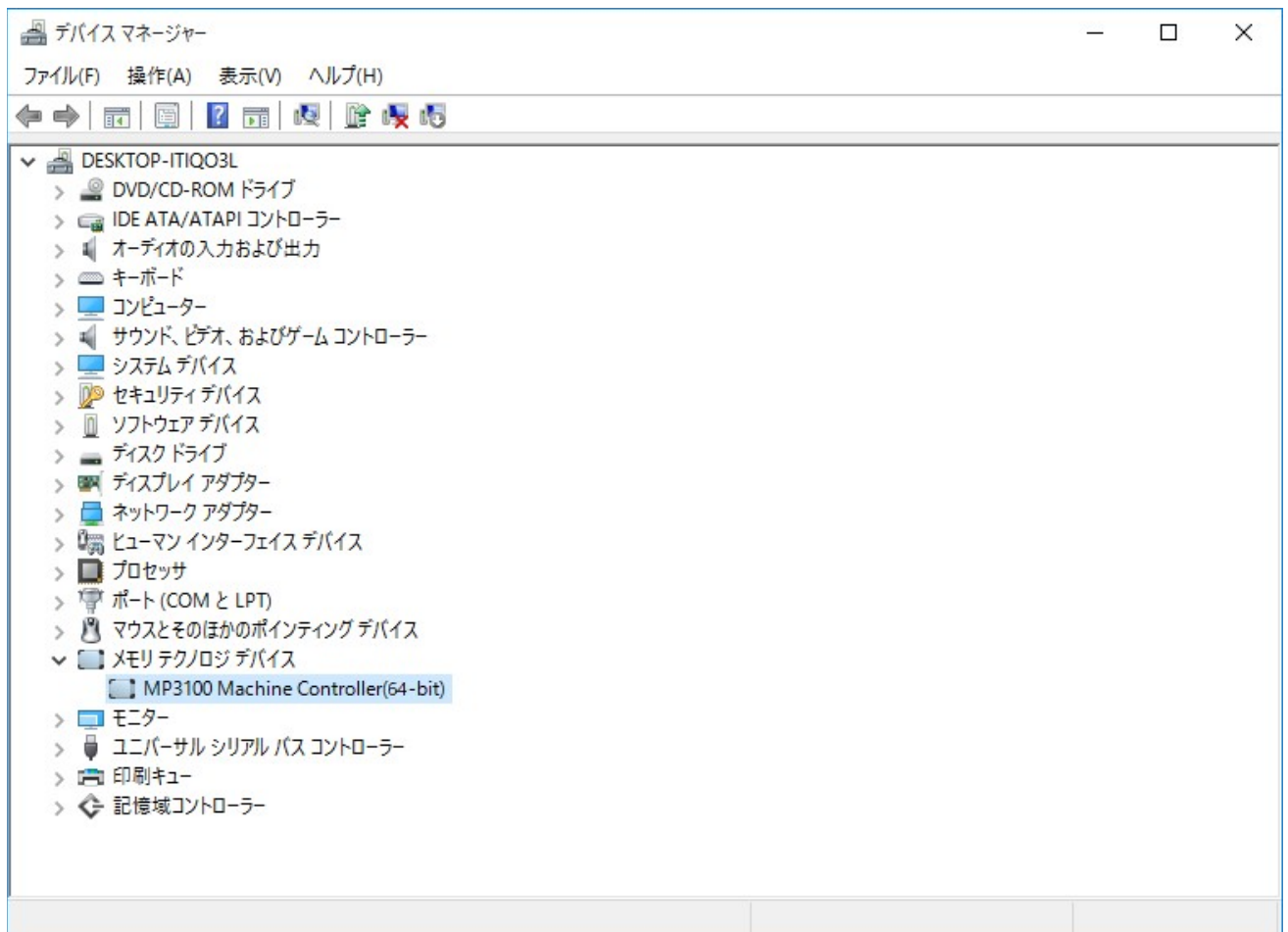
(4) 「リソース」タブコントロールを開きます。競合するデバイスが“競合なし”と表示されていることを確認します。



ここまで正常に終了すれば、MP2100/MP3100/を使用することができます。ここまで正常に終了しなかった場合は、インストール作業をもう一度行ってください。

1. ドライバの更新インストール

- (1) PCを電源の切れた状態にし、MP2100の場合PCIスロットに、MP3100の場合PCI Expressスロットに装着します。MP2100/MP3100のフェースプレート部をネジでしっかり固定してください。
- (2) PCを立ち上げ Windows 10/Windows 11を起動して下さい。
- (3) Windowsボタン→「設定」→「デバイス」→「接続中のデバイス」を選択します。
- (4) 関連設定の「デバイスマネージャー」を選択します。
- (5) “MP2100/MP2101/MP2101T Machine Controller(32-bit)”、“MP2100M/MP2101M/MP2101TM Machine Controller (32-bit)”、または“MP3100 Machine Controller(32-bit)”にカーソルを合わせて、「右クリック」→「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。(64bit環境の場合、ドライバの名称の末尾が (64-bit) となります。)



以降の作業は「[Windows 10/Windows 11 にインストールする方法](#)」の「(6) “コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)”を選択します。」以降の作業と同様になります。